石川県工事完成図書の電子納品要領（案）
電気通信設備編

平成 15 年10月

石　　川　　県

石川県工事完成図書の電子納品要領（案）電気通信設備編
＜目　次＞

1　適用 1
2　用語の定義 2
3　フォルダ構成 4
4　成果品の管理項目 12
4-1　工事管理項目 12
4-2　打合せ簿管理項目 17
4-3　施工計画書管理項目 20
4-4　その他資料管理項目 22
4-5　設備図書管理項目 24
5　ファイル形式 26
6　ファイル命名規則 27
7　電子媒体 31
7-1　電子媒体 31
7-2　電子媒体に貼るラベルについて 32
7-3　成果品が複数枚に渡る場合の処置 34
8　その他留意事項 35
8-1　ウイルス対策 35
8-2　使用文字 36
8-3　オリジナルファイルの電子化について 37
8-4　電子化が困難な資料の取り扱い 38

付属資料 1 電子媒体による管理項目の記入方法について 40
付属資料 2 管理ファイルの DTD 104
付属資料 3 管理ファイルの XML 記入例 120
付属資料 4 XML 文書作成における留意点 132

1 適用

本要領は、電気通信設備工事共通仕様書において定められる成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

【解説】

本要領は、表 1-1に示される共通仕様書及び特記仕様書に規定される成果品に適用することを基本とする。

表 1-1共通仕様書

NO.	名称	編集又は発行所
1	電気通信設備工事共通仕様書	国土交通省

2 用語の定義

「石川県工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編」に使用する用語の定義は、次に定める所とする。

(1) 「施工計画書」

「施工計画書」とは、工事着手前に請負者から提出される施工計画に関する文書及びそれの添付資料（文書、図面、写真）をいう。

(2) 「打合せ簿」

「打合せ簿」とは、施工中に発注者～請負者間で交換される下記に示す項目に関する文書（鑑）及びそれの添付資料（文書、図面、写真）をいう。

1) 「指示」

監督員が請負者に対し､工事の施工上必要な事項について書面をもって示し、実施させることをいう。

2) 「承諾」

契約図書で明示した事項について、発注者若しくは監督員又は請負者が書面により同意することをいう。

3) 「協議」

書面により契約図書の協議事項について､発注者と請負者が対等の立場で合議し、結論を得ることをいう。

4) 「提出」

監督員が請負者に対し、又は請負者が監督員に対し、工事に係わる書面又はその他の資料を説明し、差し出すことをいう。

5) 「提示」

監督員が請負者に対し、又は請負者が監督員に対し、工事に係わる書面又はその他の資料を示し、説明することをいう。

6) 「報告」

請負者が監督員に対し、工事の状況又は結果について書面をもって知らせることをいう。

7) 「通知」

監督員が請負者に対し、又は請負者が監督員に対し、工事の施工に関する事項について、書面をもって知らせることをいう。

(3) 「発注図」「完成図」「設備図書」

1) 「発注図」

発注図とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更又は追加された設計図及び設計図のもととなる設計計算書等をいう。ただし、詳細設計を含む工事においては契約図書及び監督員の指示に従って作成したものを発注図とすることができ

る。ただし、本電子納品要領（案）で設計計算書等は対象外とする。

2) 「完成図」

完成図とは発注図を基にし、施工中の変更等を加味して修正した図面をいう。

図面枠は発注図と同様の枠又は専用の図面枠とする。発注者によっては「竣工図」、「しゅん功図」、「一般設計図」等と称する場合もある。なお、完成図のデータは「石川県ＣＡＤ製図基準(案)」の規程に基づき作成するものとする。

3) 「設備図書」

設備図書とは工事竣工後の保守に必要な図面や文書で、機器製作図、取り扱い説明書、試験成績書、施工図等をいう。

専用フォルダを設けて納品する打合せ簿、施工計画書、完成図、工事写真、その他フォルダに別途指定する工事履行報告書、段階確認書、並びに契約関係書類や契約事項の確認検査に係わる契約書、請負代金内訳書、材料確認願い等の書類等は除く。

(4) 「工事写真」

「工事写真」とは、施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を写真管理基準（案）により撮影したものである。なお、工事写真の電子データは「石川県デジタル写真管理情報基準(案)」の規定に基づき作成するものとする。

(5) 「品質管理資料」と「出来形管理資料」

「品質管理資料」とは、品質管理表、測定結果総括表、測定結果一覧表、品質管理図表、品質管理図、度数表等を指す。「出来形管理資料」とは、測定結果総括表、測定結果一覧表、出来形管理図表、出来形管理図、度数表等を指す。

(6) 「その他資料」

「工事履行報告書」、「段階確認書」とする。

発注者によっては打合せ簿を書類の鏡としない為に、納品が必要な書類の専用フォルダが存在しない場合があるが、その場合はこのフォルダとする。

3 フォルダ構成

電子的手段により引き渡される成果品は、図 3-1～図 3-4 に示されるフォルダ構成とする。

電子媒体のルート直下に「DRAWINGS」、「MEET」、「PLAN」、「DRAWINGF」、「PHOTO」、「OTHRS」、「FACILITY」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。「MEET」、「PLAN」、「OTHRS」、「FACILITY」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。

各フォルダ及びサブフォルダに格納するファイルは、以下の通りとする。

- 「DRAWINGS」フォルダには、発注図の電子データファイルを「石川県CAD 製図基準（案）電気通信設備編」に従い格納する。「SPEC」サブフォルダには、特記仕様書オリジナルファイルを格納する。
- 「MEET」フォルダには、打合せ簿管理ファイルを格納する。「ORG」サブフォルダには、打合せ簿オリジナルファイル、品質管理オリジナルファイル、出来形管理オリジナルファイルを格納する。
- 「PLAN」フォルダには、施工計画書管理ファイルを格納する。「ORG」サブフォルダには、施工計画書オリジナルファイルを格納する。
- 「DRAWINGF」フォルダには、完成図の電子データファイルを「石川県CAD 製図基準（案）電気通信設備編」に従い格納する。
- 「PHOTO」フォルダには、工事写真の電子データファイルを「石川県デジタル写真管理情報基準（案）」に従い格納する。
- 「OTHRS」フォルダには工事履行報告書及び段階確認書の管理ファイルを格納する。「ORG」サブフォルダには工事履行報告書及び段階確認書のオリジナルファイルを格納する。
- 「FACILITY」フォルダには、電気通信設備業務で納品の対象となる設備図書の電子データを、本基準に従い格納する。

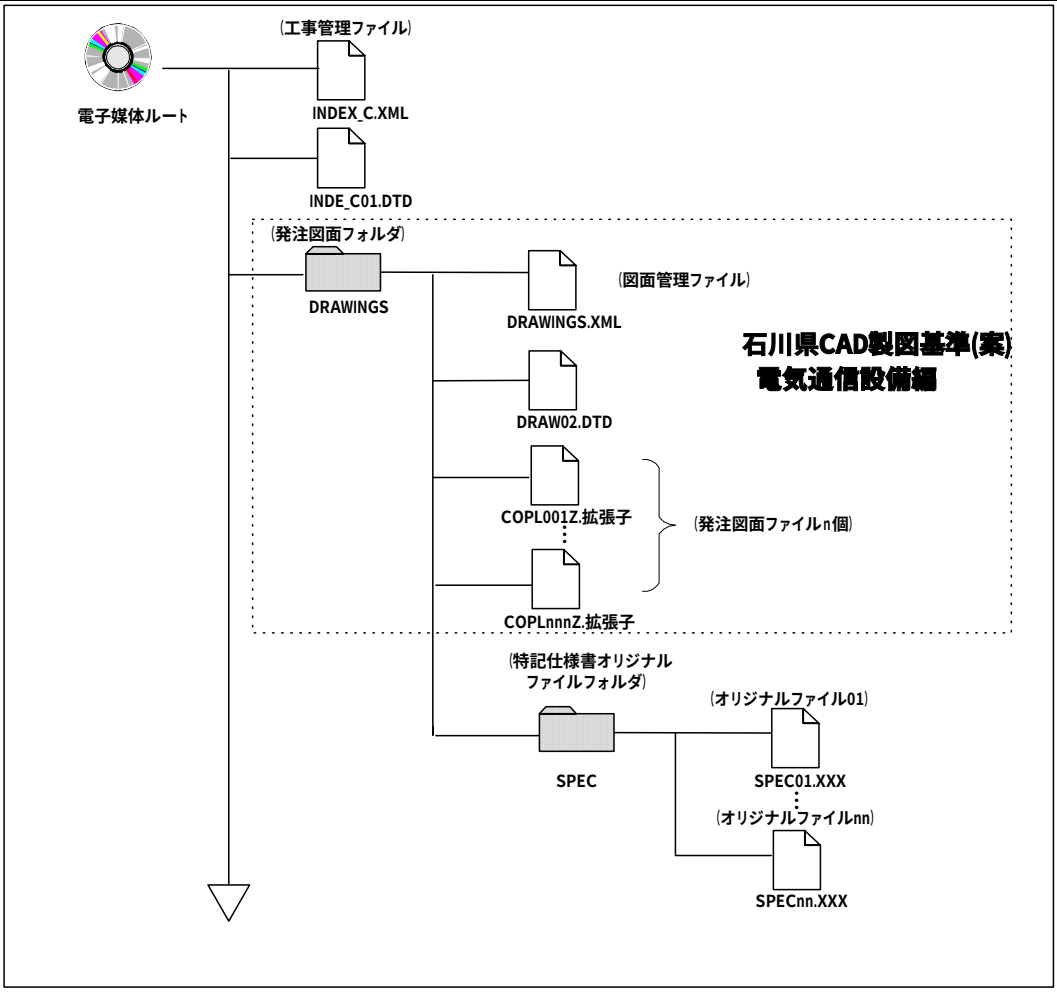


図 3-1　フォルダ構成図（1/4）

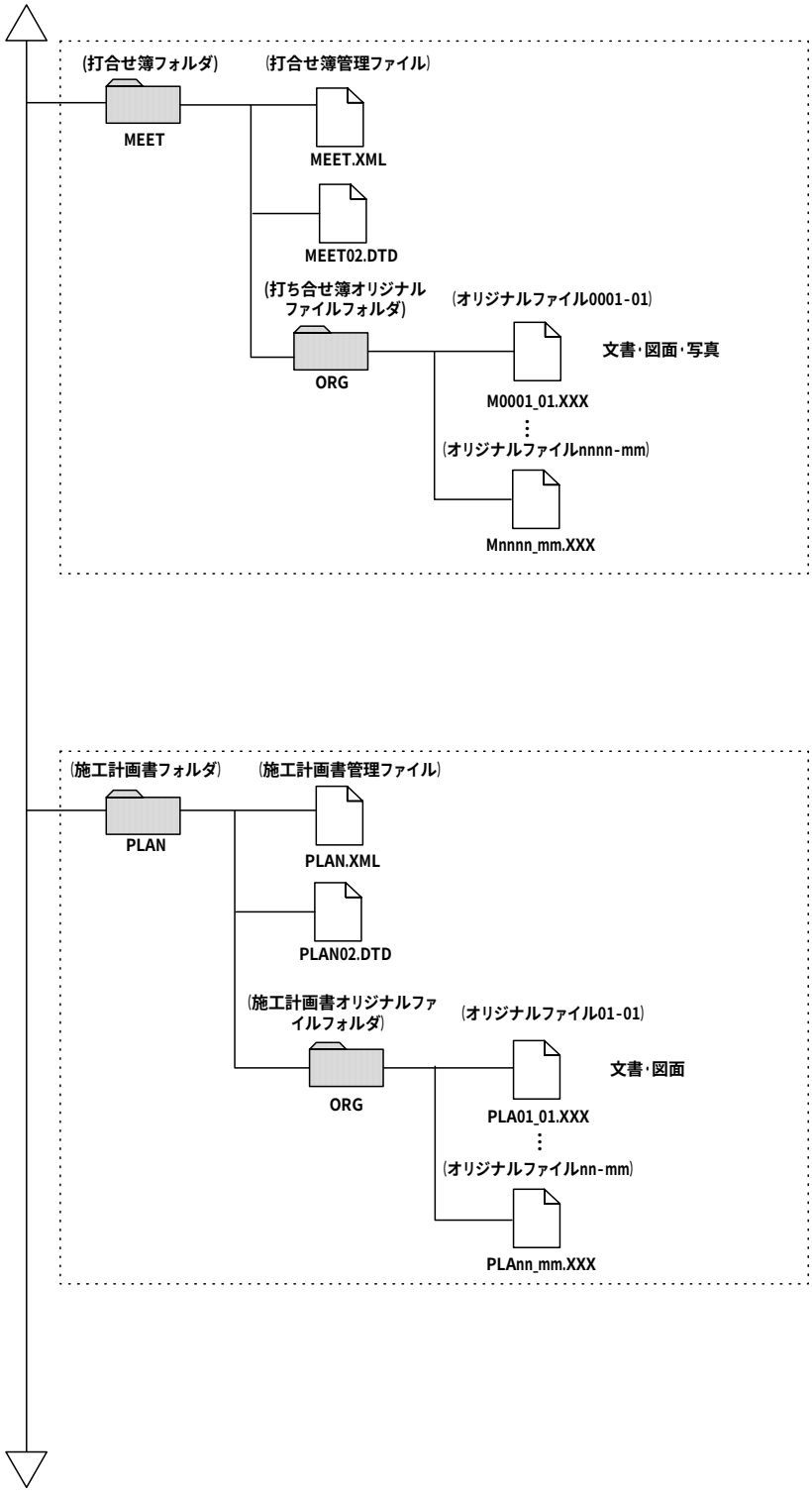


図 3-2　フォルダ構成図（2/4）

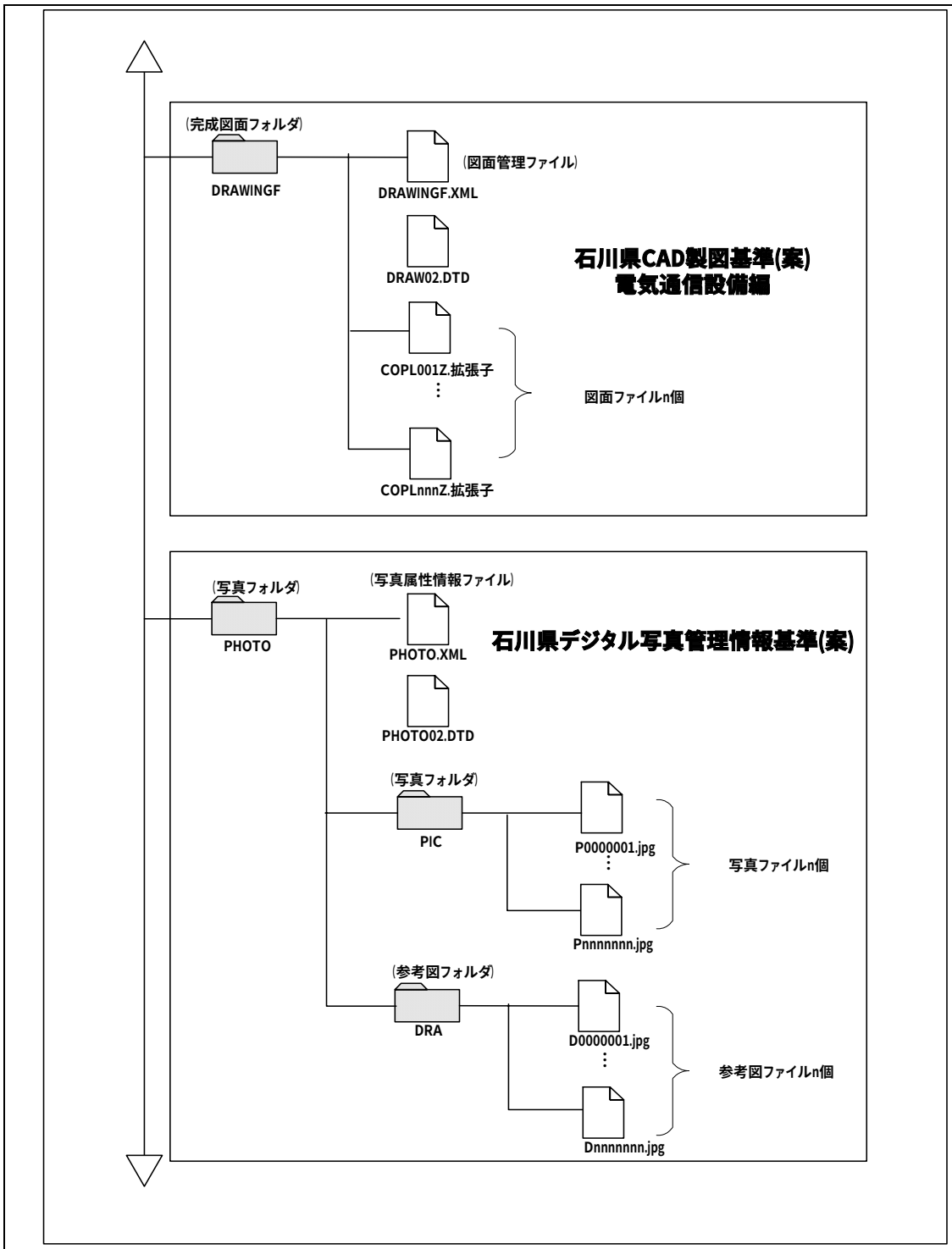


図 3-3　フォルダ構成図(3/4)

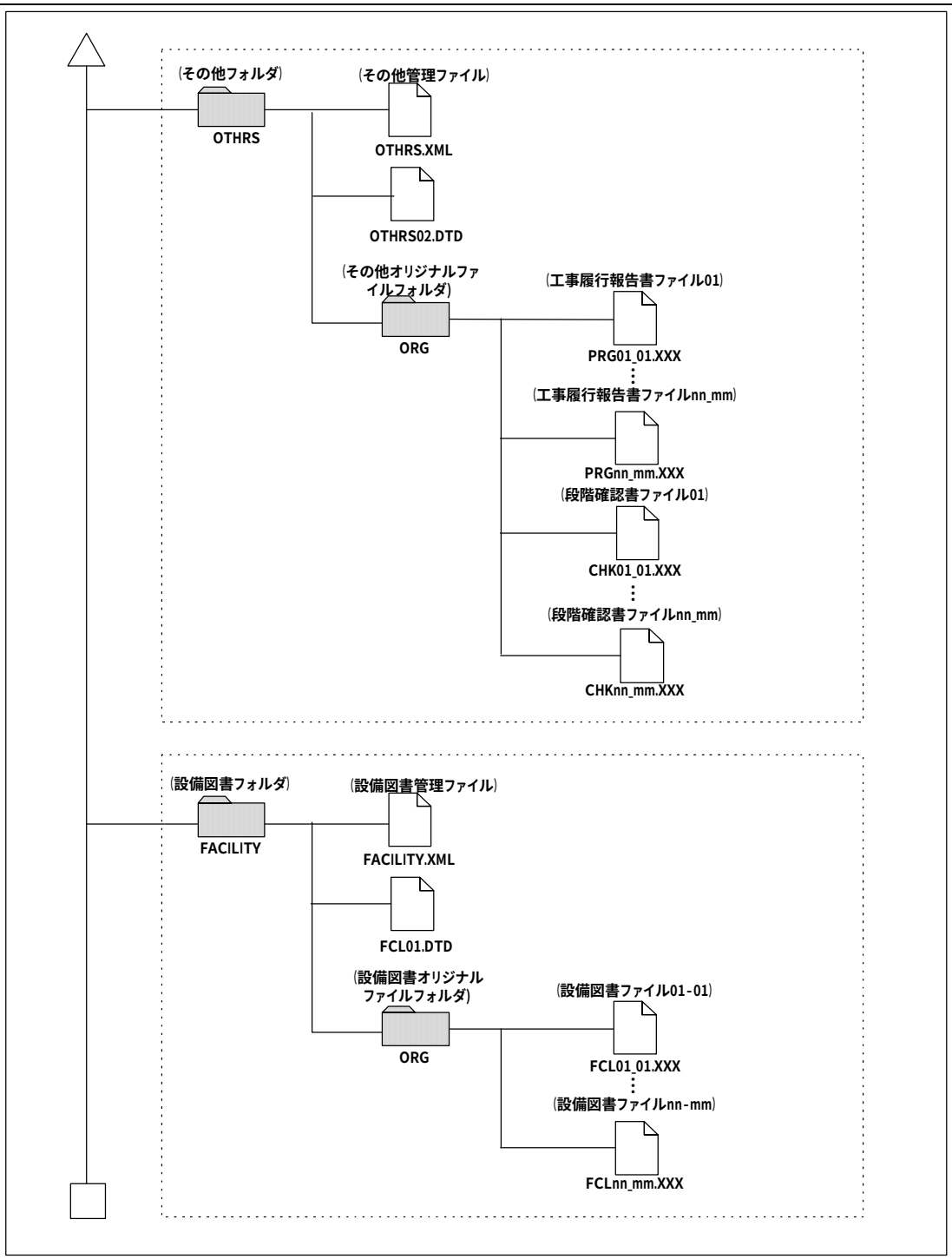


図 3-4　フォルダ構成図(4/4)

（フォルダ作成上の留意事項）

1. フォルダ名称は、半角英数大文字とする。

2. 各フォルダに直接対象ファイルを格納し、階層分けは行わない。

3. フォルダの順番は、例を示したものであり、表示の順番これによるものではない。

【解説】

(1) 電子媒体ルートフォルダ

1) 工事管理ファイル

電子媒体ルートフォルダに格納する「工事管理ファイル」は、「工事管理項目」（工事の属性を表すデータ）を XML(*1)文書（XML バージョン 1.0 に準拠）で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「INDEX_C.XML」とする。本 XML 文書で用いる DTD(*2)を付属資料 2 に示す。なお、「INDE_C01.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。

「工事管理項目」の詳細は、「4-1 工事管理項目」に示すとおりである。

(2) DRAWINGS フォルダ

1) 図面管理ファイル

「DRAWINGS」フォルダに格納する「図面管理ファイル」は、発注者より電子データとして提出されたものについて管理することとし、請負者側にて新たに電子データの作成を行う必要はなく、発注者から発注図が電子データで提供された場合のみ、登録を行うものとする。

なお、DTD ファイルもこのフォルダに格納するものとする。

(3) MEET フォルダ

1) 打合せ簿管理ファイル

「MEET」フォルダに格納する「打合せ簿管理ファイル」は、「打合せ簿管理項目」（打合せ簿の属性を表すデータ）を XML(*1)文書（XML バージョン 1.0 に準拠）で記述したファイルであり、ファイル名称は「6 ファイルの命名規則」に従うものとする。

なお、「MEET02.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。

(4) PLAN フォルダ

1) 施工計画書管理ファイル

「PLAN」フォルダに格納する「施工計画書管理ファイル」は、「施工計画書管理項目」（施工計画書の属性を表すデータ）を XML(*1)文書（XML バージョン 1.0 に準拠）で記述したファイルであり、ファイル名称は「6 ファイルの命名規則」に従うものとする。

なお、「PLAN02.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。

(5) DRAWINGF フォルダ

1) 図面管理ファイル

「DRAWINGF」フォルダに格納する「図面管理ファイル」は、「石川県CAD 製図基準（案）電気通信設備編」に従うこととする。

なお、「DRAW02.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。

(6) OTHRS フォルダ

1) その他管理ファイル

「OTHRS」フォルダに格納する「その他管理ファイル」は、「その他資料管理項目」（その他資料の属性を表すデータ）を XML(*1)文書（XML バージョン 1.0 に準拠）で記述したファイルであり、ファイル名称は「6 ファイルの命名規則」に従うものとする。

ここで、その他資料とは「工事履行報告書」「段階確認書」をさす。

なお、「OTHRS02.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。

(7) FACILITY フォルダ

1) 設備図書ファイル

「FACILITY」フォルダに格納する「設備図書管理ファイル」は、「設備図書管理項目」を XML(*1)文書（XML バージョン 1.0 に準拠）で記述したファイルであり、ファイル名称は「6 ファイルの命名規則」に従うものとする。

なお、「FCL01.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。

(8) ORG サブフォルダ

「ORG」サブフォルダは、「MEET」フォルダ、「PLAN」フォルダ、「OTHRS」フォルダ、「FACILITY」フォルダの下に置き、各フォルダのもとで「打合せ簿」「施工計画書」「工事履行報告書」「段階確認書」「設備図書」ファイルを作成したソフト固有の形式で格納する。ファイル名称は「6 ファイルの命名規則」に従うものとする。

(9) SPEC サブフォルダ

「SPEC」サブフォルダは、「DRAWINGS」フォルダの下に置き、各種オリジナルファイルを作成したソフト固有の形式で格納する。ファイル名称は「6 ファイルの命名規則」に従うものとする。

(*1) XML eXtensible Markup Language（拡張型構造化記述言語）

文字列をタグと呼ばれる＜　＞で括った予約語で囲み、文書の整形や他文書へのリンクを記述する。文書の構造を DTD というファイルに定義することで、表現方法の指定や文書中の文字列に意味を付加する独自のタグを拡張定義できることに特徴がある。

(*2) DTD Document Type Definitions（文書型定義）

ＸＭＬ文書を構成する要素が現れる場所、順序、出現回数などの文書構造を定義する仕組みである。

4 成果品の管理項目

4-1 工事管理項目

成果品の電子媒体に添付する工事管理ファイル（INDEX_C.XML）に記入する工事管理項目は表 4-1に示す通りである。

表 4-1 工事管理項目

基礎情報

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。	半角数字	8	□	◎
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。	同上	8	□	◎
	発注図面フォルダ名	発注図の図面ファイルを格納するフォルダ名を「DRAWINGS.XML」に記入する。	半角英数大文字	127	▲	◎
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	特記仕様書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（DRAWINGS/SPEC で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿管理ファイルと打合せ簿オリジナルファイルフォルダを納するフォルダ名称（MEET で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（MEET/ORG で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	施工計画書フォルダ名	施工計画書管理ファイルと施工計画書オリジナルファイルフォルダを格納するフォルダ名称（PLAN で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（PLAN/ORG で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	完成図面フォルダ名	完成図の図面ファイルを格納するフォルダ名を「DRAWINGF.XML」に記入する。	同上	127	▲	◎
	写真フォルダ名	写真属性情報ファイル、写真フォルダ、参考図フォルダを格納するフォルダ名称（PHOTO で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	その他フォルダ名	その他管理ファイル、その他オリジナルフォルダを格納するフォルダ名称（OTHRS で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	その他オリジナルファイルフォルダ名	工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（OTHRS/ORG で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	設備図書フォルダ名	設備図書管理ファイルと設備図書オリジナルファイルフォルダを格納するフォルダ名称（FACILITY で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎
	設備図書オリジナルファイルフォルダ名	設備図書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（FACILITY/ORG で固定）を記入する。	同上	127	▲	◎

ソフトウェア情報

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	工事管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	バージョン情報	工事管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127	▲	○
	メーカ名	ソフトウェアメーカ名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	メーカ連絡先	メーカ連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	同上	127	▲	○
	ソフトメーカ用 TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64	▲	△

工事情報

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
工事件名等	発注年度	工事の発注年度を記入する。	半角数字	4	□	◎
	工事番号	発注者が定める設計書番号を記入する。	半角英数字	127	□	◎
	路線水系名等	CORINS の「路線・水系名等」に従って記入する。	全角文字 半角英数字	64	■	○
	工事名称	CORINS の「工事件名」に従って記入する。	同上	127	■	◎
	工事分野	CORINS の「工事の分野」に従って記入する。	同上	16	■	◎
	工事業種	CORINS の「工事の業種」に従って記入する。	同上	16	■	◎
	工種	CORINS の「工種、工法・型式」の工種を記入する。(複数記入可)	同上	64	■	◎
	工法型式	CORINS の「工種、工法・型式」の工法・型式を記入する。(複数記入可)	同上	64	■	◎
	住所コード	代表地点又は、施工場所の開始場所および終了場所のコードを CORINS コード表より選択し、記入する。(CORINS の「施工場所コード」に対応、複数記入可)	半角数字	5	■	◎
	住所 (施工場所)	代表地点又は、施工場所の開始場所および終了場所(県名以下の住所)を、出来る限り詳細に記入する。(CORINS の「施工場所」に対応、複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	■	◎
	工期開始日	工期の開始年月日を記入する。	半角英数字	10	■	◎
	工期終了日	工期の終了年月日を記入する。	同上	10	■	◎
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎

ｶﾃｺﾞﾘｰ	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
場所情報	起点側測点-n	(自)n＋m n を 4 桁で記入する。	半角英数字	4	□	○
	起点側測点-m	(自)n＋m m を 3 桁で記入する。	同上	3	□	○
	終点側測点-n	(至)n＋m n を 4 桁で記入する。	同上	4	□	○
	終点側測点-m	(至)n＋m n を 3 桁で記入する。	同上	3	□	○
	起点側距離標-n	(自)n＋m n を 3 桁で記入する。	同上	3	□	○
	起点側距離標-m	(自)n＋m m を 3 桁で記入する。	同上	3	□	○
	終点側距離標-n	(至)n＋m n を 3 桁で記入する	同上	3	□	○
	終点側距離標-m	(至)n＋m m を 3 桁で記入する	同上	3	□	○
	西側境界座標経度	対象領域の最西端の座標を経度で表す。 度(3 桁)　分(2 桁)　秒(2 桁)	同上	7	□	○
	東側境界座標経度	対象領域の最東端の座標を経度で表す。 度(3 桁)　分(2 桁)　秒(2 桁)	同上	7	□	○
	北側境界座標緯度	対象領域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3 桁)　分(2 桁)　秒(2 桁)	同上	7	□	○
	南側境界座標緯度	対象領域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3 桁)　分(2 桁)　秒(2 桁)	同上	7	□	○
施設情報	施設名称	施設名称を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	○
発注者情報	発注者-大分類	発注者の官庁名、団体名などを記入する。(CORINS の「発注機関名・中分類」に対応)	同上	16	■	◎
	発注者-中分類	発注者の局名、支社名などを記入する。(CORINS の「発注機関名・小分類」に対応)	同上	32	■	◎
	発注者-小分類	事務所名などを記入する。(CORINS の「発注機関名・細分類」に対応)	同上	16	■	◎
	発注者コード	CORINS の「発注機関コード」に従って記入する。	半角数字	8	■	◎
請負者情報	請負者名	請負者の正式名称を記入する。(CORINS の「請負会社名」に対応)	全角文字 半角英数字	127	■	◎
	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。	半角数字	127	□	○
予備		予備項目があれば記入する。 （複数記入可）	全角文字 半角英数字	127	□	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】■：CORINS から出力される CFD ファイル（CORINS2000 提出用フロッピーディスクのファイルフォーマット）から取り込むことが可能な項目。

□：電子媒体作成者が記入する項目。

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】◎：必須記入。

○：条件付き必須記入。（データが分かる場合は必ず記入する）

△：任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

【解説】

(1) 工事管理項目は、成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目である。

(2) 表 4-1工事管理項目のデータ表現の定義は、「8-2 使用文字」に従うものとする。

(3) 付属資料１に工事管理項目の記入方法、付属資料２に管理ファイルの DTD、付属資料 3 に管理ファイルの XML 記入例を示す。

(4) CORINS（コリンズ）「COnstruction Records Information Service」

「工事実績と技術者のデータベース」であり、公共工事の一般競争入札方式等の入札・契約手続きを支援する。

(5) 場所情報

場所情報については、「測点」、「距離標」、「境界座標」のいずれかを用いて記入する。場所情報の記入にあたっては、上記 3 項目のうち「境界座標」による記入が最も望ましい。

(a) 測点

工事対象となる起点側測点及び終点側測点を記載する。

(b) 距離標

工事対象となる起点側距離標及び終点側距離標を記載する。

(c) 境界座標

工事対象となる西側・東側・北側・南側境界座標（緯度経度）。工事範囲の外側境界を記入する。

(i)　　地図を回転しないときの境界座標記入方法

「緯度経度」は、「輪郭線」または「工事範囲の外側」の座標のいずれかを記入する。（どちらの方法でも可）

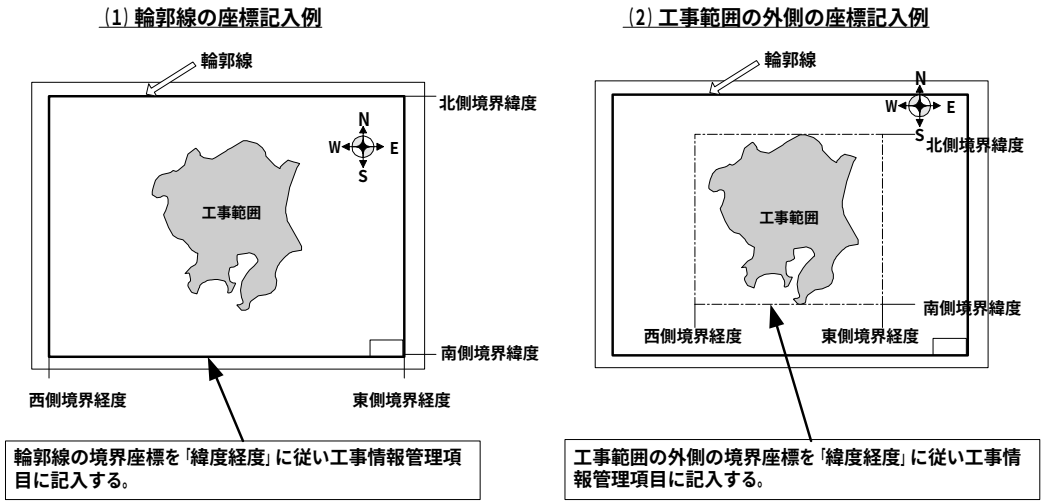


図 4-1　境界座標の記入方法（地図を回転しないとき）

(ii)　　地図を回転させるときの境界座標記入方法

「緯度経度」は、「工事範囲の外側」の座標を記入する。

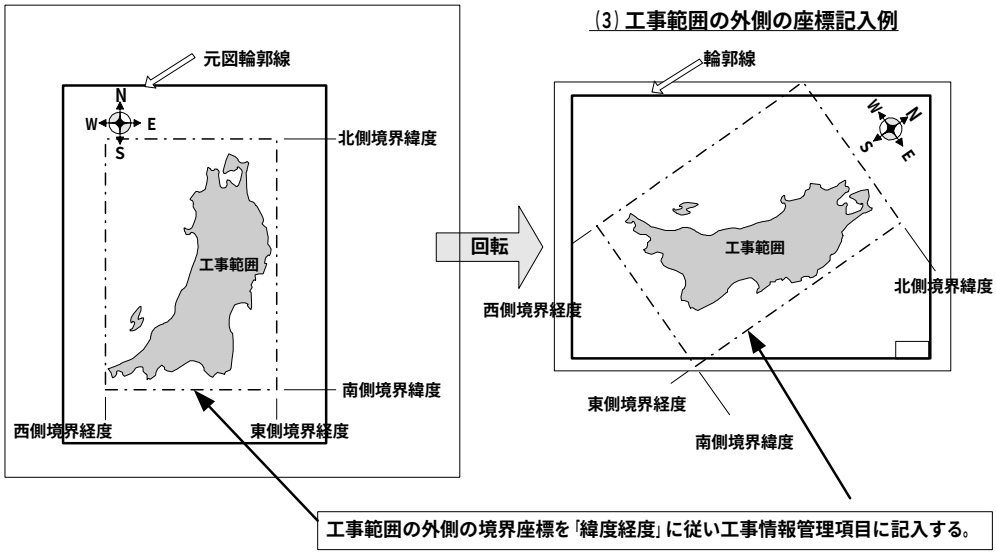


図 4-2　境界座標の記入方法（地図を回転させるとき）

4-2　打合せ簿管理項目

成果品の電子媒体に添付する打合せ簿管理ファイル（MEET.XML）に記入する管理項目は、表 4-2に示す通りである。

表 4-2　打合せ簿管理項目

ｶﾃｺﾞﾘｰ	項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
ソフトウェア情報	ソフトウェア名		打合せ簿管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	バージョン情報		打合せ簿管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127	▲	○
	メーカ名		ソフトウェアメーカ名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	メーカ連絡先		メーカ連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	同上	127	▲	○
	ソフトメーカ用 TAG		ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64	▲	△
打合せ簿情報	シリアル番号		打合せ簿の通し番号を記入する。	半角数字	15	□	◎
	打合せ簿種類		打合せ簿の種類を記入する。 （「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」）	全角文字 半角英数字	16	□	◎
	打合せ簿名称		打合せ簿の標題を記入する。	同上	40	□	◎
	管理区分		「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」を記入する。	同上	16	□	○
	打合せ簿番号		打合せ簿に記載している番号を記入する。（提出日順に番号記入する）	半角英数字	15	□	○
	作成者		発行元と作成者を記入する。	全角文字 半角英数字	40	□	◎
※1)	提出先		打合せ簿の提出先（発注者、請負者）を記入する。	同上	40	□	◎
	発行日付		発行した日付を記入する。	半角数字	10	□	◎
	受理日付		受領した日付を記入する。	同上	10	□	◎
	完了日付		発注者又は請負者が処理・回答した日付を記入する。	同上	10	□	○
	オリジナルファイル情報 ※2)	打合せ簿オリジナルファイル名	打合せ簿のファイル名を記入する。（拡張子を含む）	半角英数 大文字	12	□	◎
		打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容を記入する。	同上	64	□	◎
	その他	請負者説明文	請負者側で打合せ簿に付けるコメントを記入する。	同上	127	□	△
		発注者説明文	発注者側で打合せ簿に付けるコメントを記入する。	同上	127	□	△
		予備	その他予備項目を記入する。 （複数記入可）	同上	127	□	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
※1）打合せ簿情報以下は、打合せ簿の数分を複数繰り返し登録する。
※2）オリジナルファイル情報は一つの打合せ簿に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。
【記入者】□：電子媒体作成者が記入する項目。
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。
【必要度】◎：必須記入。
○：条件付き必須記入。（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

【解説】

(1) 打合せ簿管理項目は、成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目である。

(2) 打合せ簿管理項目のオリジナルファイル情報は、1 つの打合せ簿に使用されたオリジナルファイルを繰返し登録する。

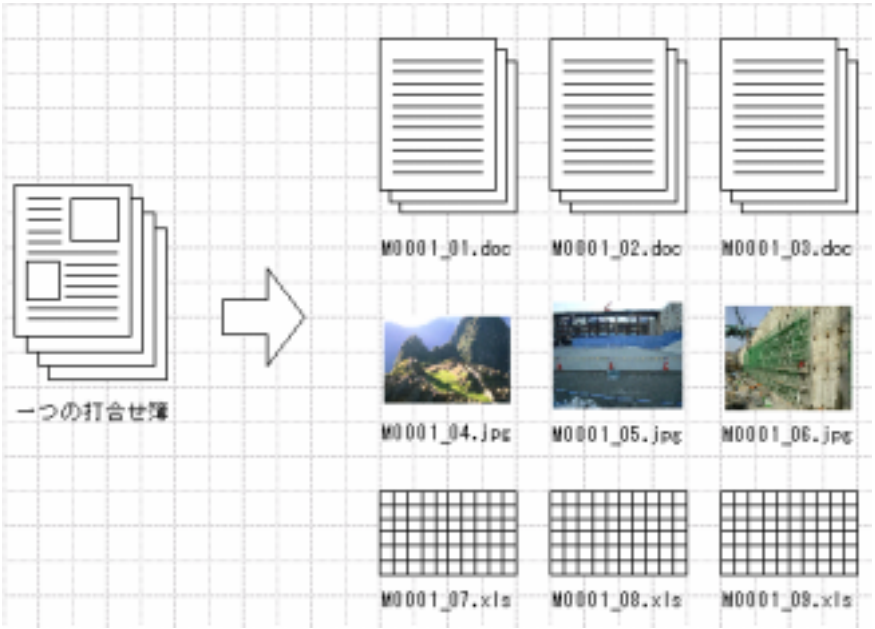


図 4-3　オリジナルファイル情報の登録

(3) 文書中に組み込む図、表、写真のオリジナルファイルは、管理ファイルや電子媒体への登録は不要である。オブジェクトファイルの形式は一般的なものが望ましく、一般的では無い場合には監督員と協議するものとする。

(4) 「品質管理資料」「出来形管理資料」は「打合せ簿情報」の「打合せ簿種類」に「提出」と記入し、「管理区分」に「品質管理」または「出来形管理」を記入する。

(5) 表 4-2打合せ簿管理項目のデータ表現の定義は、「8-2 使用文字」に従うものとする。

(6) 付属資料 1 に打合せ簿管理項目の記入方法、付属資料 2 に管理ファイルの DTD、付属資料 3 に管理ファイルの XML 記入例を示す。

4-3　施工計画書管理項目

成果品の電子媒体に添付する施工計画書管理ファイル（PLAN.XML）に記入する管理項目は、表 4-3に示す通りである。

表 4-3　施工計画書管理項目

カテゴリー	項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
ソフトウェア情報	ソフトウェア名		施工計画書管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	バージョン情報		施工計画書管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127	▲	○
	メーカ名		ソフトウェアメーカ名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	メーカ連絡先		メーカ連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	同上	127	▲	○
	ソフトメーカ用 TAG		ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64	▲	△
施工計画書情報 ※1)	シリアル番号		施工計画書の通し番号を記入する。	半角数字	15	□	◎
	施工計画書名称		施工計画書の標題を記入する。	全角文字 半角英数字	40	□	◎
	オリジナルファイル情報 ※2)	施工計画書オリジナルファイル名	施工計画書のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)	半角英数 大文字	12	□	◎
		施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容を記入する。	同上	127	□	◎
	その他	請負者説明文	請負者側で図書に付けるコメントを記入する。	同上	同上	□	△
		発注者説明文	発注者側で図書に付けるコメントを記入する。	同上	同上	□	△
		予備	その他予備項目を記入する。 （複数記入可）	同上	同上	□	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

※ 1）施工計画書情報以下は、施工計画書の数分を複数繰り返し登録する。

※ 2）オリジナルファイル情報は一つの施工計画書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入。
○：条件付き必須記入。(データが分かる場合は必ず記入する)
△：任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

【解説】

(1) 施工計画書管理項目は、成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目である。

(2) 文書中に組み込む図、表、写真のオリジナルファイルは、管理ファイルや電子媒体への登録は不要である。オブジェクトファイルの形式は一般的なものが望ましく、一般的では無い場合には監督員と協議するものとする。

(3) 表 4-3施工計画書管理項目のデータ表現の定義は、「8-2 使用文字」に従うものとする。

(4) 付属資料 1 に施工計画書管理項目の記入方法、付属資料 2 に管理ファイルの DTD、付属資料 3 に管理ファイルの XML 記入例を示す。

4-4　その他資料管理項目

成果品の電子媒体に添付するその他資料管理情報ファイル（OTHRS.XML）に記入する管理項目は、表 4-4に示す通りである。

表 4-4　その他資料管理項目

カテゴリー	項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
ソフトウェア情報	ソフトウェア名		その他資料管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	バージョン情報		その他資料管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127	▲	○
	メーカ名		ソフトウェアメーカ名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	メーカ連絡先		メーカ連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	同上	127	▲	○
	ソフトメーカ用 TAG		ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64	▲	△
その他資料情報 ※1)	シリアル番号		工事履行報告書又は段階確認書に付けられている通し番号を記入する。	半角英数字	15	□	◎
	資料名		工事履行報告書又は段階確認書の標題を記入する。	全角文字 半角英数字	40	□	◎
	その他資料種類		その他資料の種類を記入する。 （「工事履行報告書」「段階確認書」）	同上	16	□	◎
	保管場所		保管する場所を記入する。	同上	40	□	○
	オリジナルファイル情報 ※2)	その他資料 オリジナルファイル名	その他資料のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）	半角英数 大文字	12	□	◎
		その他資料ファイル 作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容を記入する。	同上	同上	□	◎
	その他	請負者説明文	請負者側で付けるコメントを記入する。	同上	127	□	△
		発注者説明文	発注者側で付けるコメントを記入する。	同上	同上	□	△
		予備	その他の予備項目を記入する。 （複数記入可）	同上	同上	□	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

※ 1）その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。

※ 2）オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入。
○：条件付き必須記入。（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

【解説】

(1) その他資料管理項目は、成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目である。

(2) 文書中に組み込む図、表、写真のオリジナルファイルは、管理ファイルや電子媒体への登録は不要である。オブジェクトファイルの形式は一般的なものが望ましく、一般的では無い場合には監督員と協議するものとする。

(3) 表 4-4その他資料管理項目のデータ表現の定義は、「8-2 使用文字」に従うものとする。

(4) 付属資料 1 にその他資料管理項目の記入方法、付属資料 2 に管理ファイルの DTD、付属資料 3 に管理ファイルの XML 記入例を示す。

4-5　設備図書管理項目

成果品の電子媒体に添付する設備図書管理ファイル（FACILITY.XML）に記入する管理項目は、表 4-5に示す通りである。

表 4-5　設備図書管理項目

カテゴリー	項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
ソフトウェア情報	ソフトウェア名		設備図書管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	バージョン情報		設備図書管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127	▲	○
	メーカ名		ソフトウェアメーカ名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	メーカ連絡先		メーカ連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	同上	127	▲	○
	ソフトメーカ用 TAG		ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64	▲	△
設備図書情報 ※1)	シリアル番号		設備図書の通し番号を記入する。	半角数字	15	□	◎
	設備図書名称		設備図書の標題を記入する。	全角文字 半角英数字	40	□	◎
	オリジナルファイル情報 ※2)	設備図書オリジナルファイル名	設備図書のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）	半角英数 大文字	12	□	◎
		設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容を記入する。	同上	127	□	◎
	その他	請負者説明文	請負者側で図書に付けるコメントを記入する。	同上	同上	□	△
		発注者説明文	発注者側で図書に付けるコメントを記入する。	同上	同上	□	△
		予備	その他予備項目を記入する。 （複数記入可）	同上	同上	□	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

※ 1）設備図書情報以下は、設備図書の数分を複数繰り返し登録する。

※ 2）オリジナルファイル情報は一つの設備図書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入。
○：条件付き必須記入。（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

【解説】

(1) 設備図書管理項目は、成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目である。

(2) 文書中に組み込む図、表、写真のオリジナルファイルは、管理ファイルや電子媒体への登録は不要である。オブジェクトファイルの形式は一般的なものが望ましく、一般的では無い場合には監督員と協議するものとする。

(3) 表 4-5設備図書管理項目のデータ表現の定義は、「8-2 使用文字」に従うものとする。

(4) 付属資料 1 に設備図書管理項目の記入方法、付属資料 2 に管理ファイルの DTD、付属資料 3 に管理ファイルの XML 記入例を示す。

(5) 汎用的なソフト以外で電子データを作成する際は、受発注者間協議の上、PDF データをオリジナルとしてもよい。

5 ファイル形式

成果品の電子データを作成するソフトについては，以下のとおりとする。

- 工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

  工事管理ファイルおよび各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は XML 形式とする。

- 打合せ簿オリジナルファイル

  打合せ簿オリジナルファイルを作成するソフト及びファイル形式については、監督員と協議の上決定する。

- 施工計画書オリジナルファイル

  施工計画書オリジナルファイルを作成するソフト及びファイル形式については、監督員と協議の上決定する。

- 工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイル

  工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイルを作成するソフト及びファイル形式については、受発注者双方で協議し決定する。

- 設計図／完成図ファイル（図面ファイル）

  図面ファイルのファイル形式については「石川県CAD 製図基準（案）電気通信設備編」に従うものとする。

- 写真ファイル

  写真ファイルのファイル形式については「石川県デジタル写真管理情報基準（案）」に従うものとする。

- 設備図書ファイル

  設備図書ファイルのファイル形式については、監督員と協議の上決定する。

【解説】

(1) 本要領「3 フォルダ構成」解説に示したように、工事管理ファイルおよび各種管理情報ファイルのファイル形式は XML 形式とする。

(2) 打合せ簿、施工計画書、工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイルとして登録される。ポンチ絵等については、必ずしも「石川県CAD 製図基準（案）」に従う必要はない。

6 ファイル命名規則

打合せ簿、施工計画書、その他資料（工事履行報告書、段階確認書）管理ファイル及び各オリジナルファイルのファイル名は、以下の各項目に従うものとする。

・共通規則

(1) ファイル名は、半角 8 文字以内とする。

(2) 半角英数字で記述する事を原則とする。

・打合せ簿管理ファイル

打合せ簿管理ファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

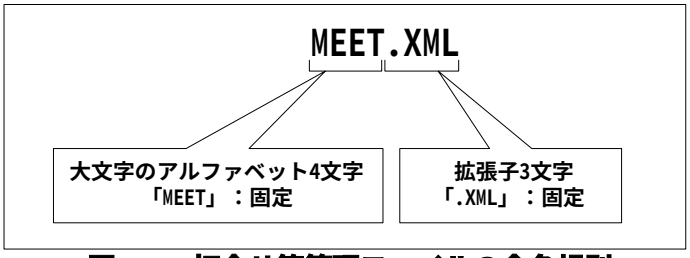


図 6-1　打合せ簿管理ファイルの命名規則

・施工計画書管理ファイル

施工計画書管理ファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

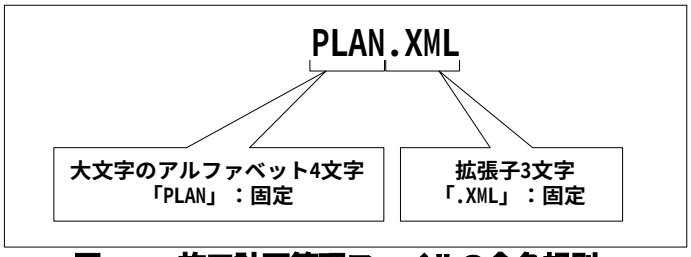


図 6-2　施工計画管理ファイルの命名規則

・その他資料管理ファイル

その他資料管理ファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

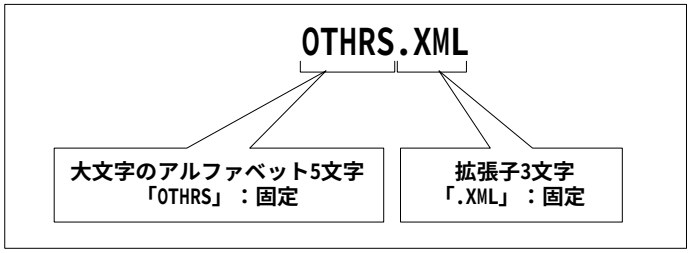


図 6-3　その他資料管理ファイルの命名規則

・ 打合せ簿オリジナルファイル

打合せ簿オリジナルファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

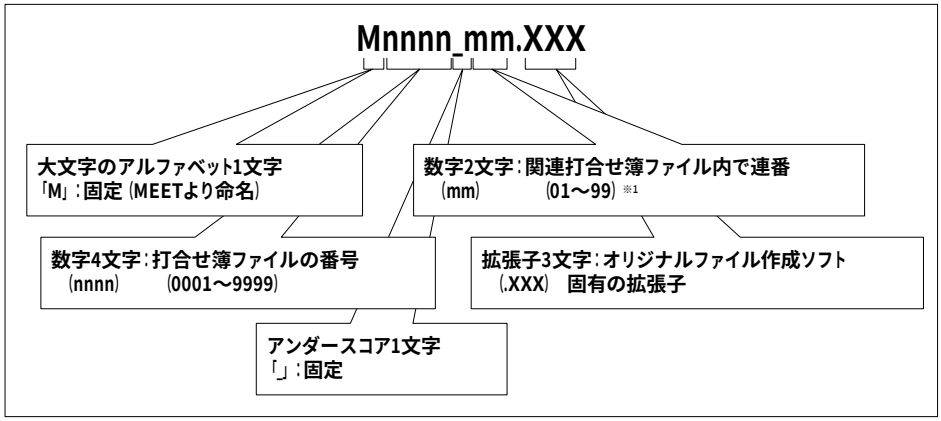


図 6-4　打合せ簿オリジナルファイルの命名規則

・ 施工計画書オリジナルファイル

施工計画書オリジナルファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

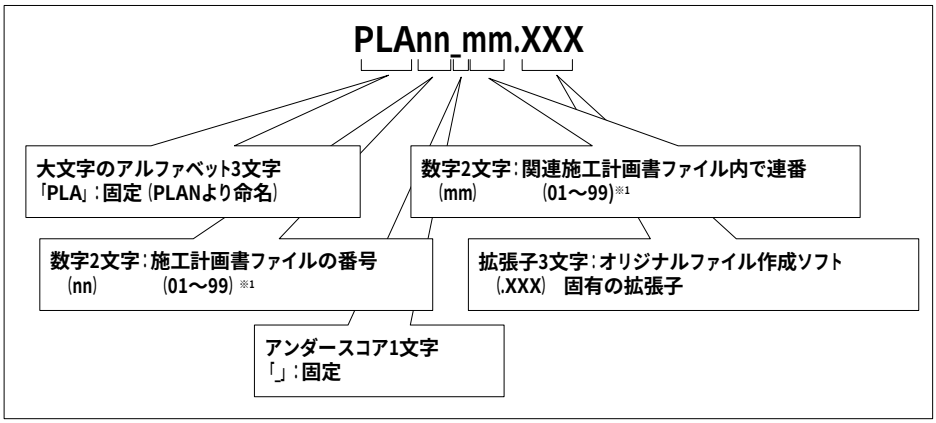


図 6-5　施工計画書オリジナルファイルの命名規則

・ 工事履行報告書オリジナルファイル

工事履行報告書オリジナルファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

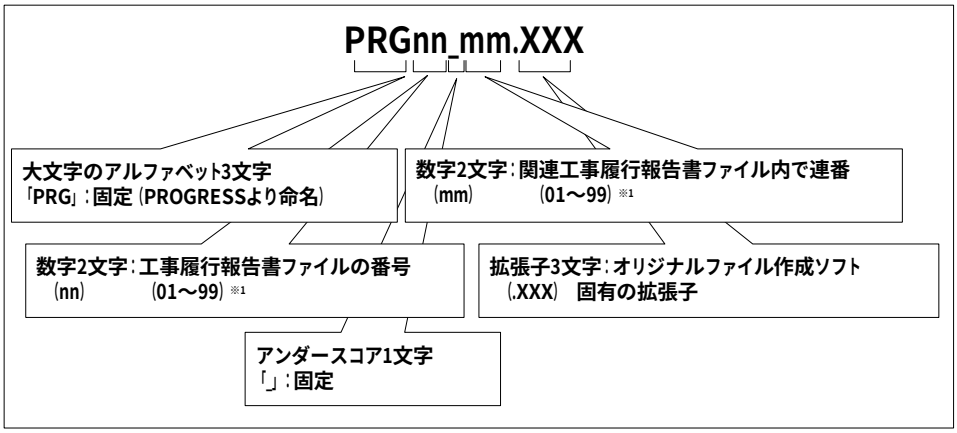


図 6-6　工事履行報告書オリジナルファイルの命名規則

・段階確認書オリジナルファイル

段階確認書オリジナルファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

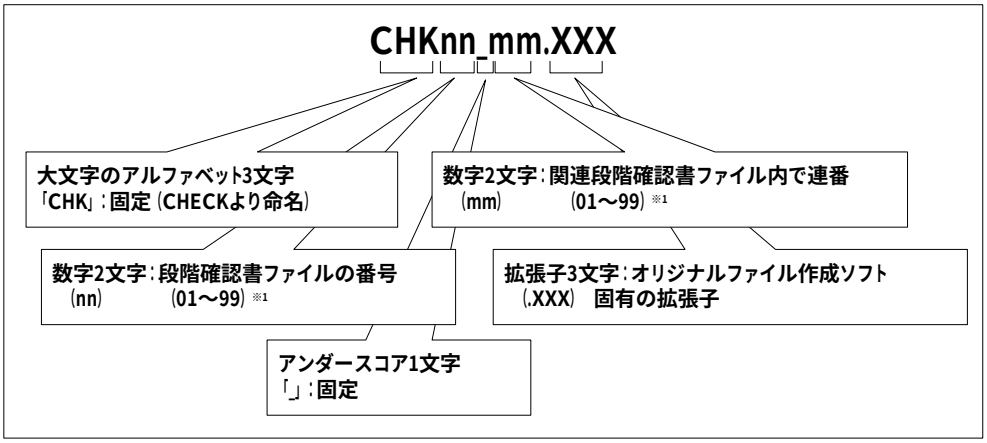


図 6-7　段階確認書オリジナルファイルの命名規則

・特記仕様書オリジナルファイル

特記仕様書オリジナルファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

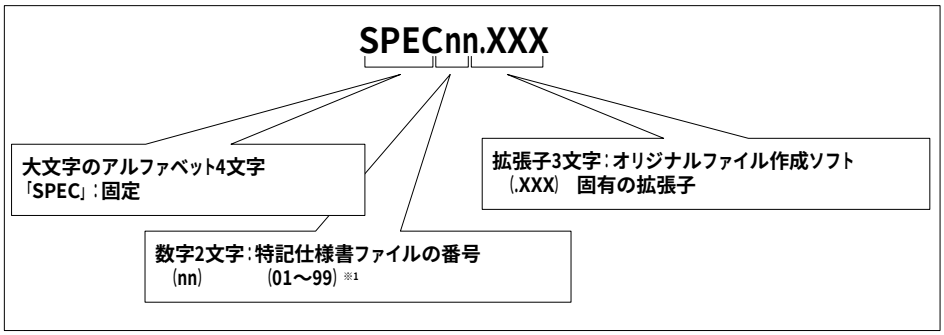


図 6-8　特記仕様書オリジナルファイルの命名規則

・設備図書オリジナルファイル

設備図書オリジナルファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

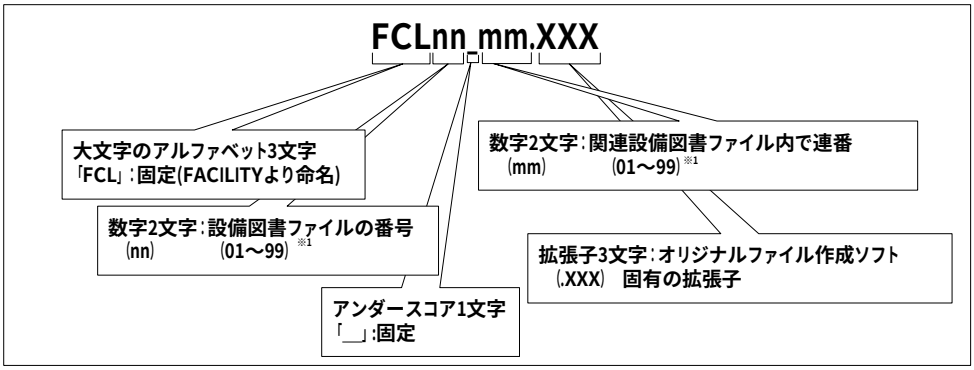


図 6-9　設備図書オリジナルファイルの命名規則

【解説】

(1) 共通規則

ファイル名は、半角 8 文字以内（ISO 9660 レベル 1 に準拠）とする。

ファイル名の文字数は、半角（1 バイト文字）で 8 文字以内、拡張子 3 文字の 8.3 形式とする。

ファイル名は、半角英数字で記述する事を原則とする。ファイル名に使用する文字は、半角（1 バイト文字）で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」のみとすることを基本とする。

各オリジナルファイルの通し番号の振り方は、日付け昇順とする。

(2) オリジナルファイル

オリジナルファイルについては、1 つの文書に対し、オリジナルファイルが複数存在する場合がある。これらについてはファイル名から内容が想定できるように、ファイル名の付け方を規定し、01 からの連番により、ファイルを区別するものとする。

例）M0001_01.DOC　M0001_02.DOC　M0001_03.XLS

(3) 管理ファイル

打合せ簿管理ファイル、施工計画書管理ファイル、その他資料管理ファイルについては、ファイル名から内容を想定できるように、ファイル名の付け方を規定する。

(4) 連番の扱い　（※１について）

連番が 100 を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

例）100～109 の場合…A0～A9　　110～119 の場合…B0～B9

120～129 の場合…C0～C9

7 電子媒体

7-1 電子媒体

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、以下の各項目に従うものとする。

- CD-R または MO の使用を原則とする。
- CD-R は、ISO9660 フォーマット（レベル 1）、MO は、スーパーフロッピーフォーマットを標準とする。
- 基本的には、1 枚の CD-R、MO に格納する。
- MO の場合 1 枚で納まらない場合は、発注者と協議の上、より大容量のものを用いて極力 1 枚で対応する。
- 複数枚の CD-R、MO に格納する場合には、「7-3 媒体が複数に渡る場合の処置」に従う。
- 納品時には、正副各 1 部ずつを納品する。
- MO の場合は、納品時には、「書き込み不可」の状態にする

【解説】

(1) 媒体は、発注者の指示（特記仕様書への記載等）により、CD-R または MO を原則とする。

(2) MO ドライブによっては、扱う容量に制限があるものもあるため、大容量の使用は受発注者間での協議によるものとした。

(3) MO の角についている「ライトプロテクトタブ」を ON（穴の空いた状態）にする。

7-2　電子媒体に貼るラベルについて

成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベルについては、以下の各項目に従うものとする。

・媒体のラベルには、以下のような情報を明記する。

(i)　工事番号

(ii)　工事名称

(iii)　作成年月

(iv)　発注者名

(v)　請負者名

(vi)　何枚目／総枚数

(vii)　ウイルスチェックに関する情報

(viii)　フォーマット形式（CD-R の場合）

・媒体を入れるプラスチックのラベルの背表紙には、以下のような情報を横書きで明記する。

(i)　工事名称

(ii)　作成年月

【解説】

(1) 納品する CD-R、MO にラベルを貼り、必要項目を全て記載するものとする。

(2) CD-R の場合はラベル面に直接印刷するか、専用のラベルを専用の貼付用器具で確実に貼り付けるものとする。

(3) 「ウイルスチェックに関する情報」については、使用した「ウイルス対策ソフト名」「ウイルス定義年月日」もしくは「パターンファイル名」、「チェック年月日」を明記する。ウイルス対策の詳細は「8-1 ウイルス対策」に示すとおりである。

(4) プラスチックケースのラベルの背表紙には、以下の例のように記載する。工事名が長く書ききれない場合は頭から書けるところまで記入する。

例：平成○年度○○○○○○○○○○工事　平成○年○月

（長い場合）

平成○年度○○○○○○○○○○○○　平成○年○月

7-3　成果品が複数枚に渡る場合の処置

成果品を電子媒体で納品する場合、基本的には、1 枚の媒体に格納する。ただし、データが容量的に 1 枚の媒体に納まらず複数枚の媒体に格納する場合は，以下の規則に従う。

- 各媒体に付けるラベルに何枚目／総枚数を明記する。
- 何枚目の媒体であっても媒体内のルートからのフォルダ構成は変えない。
- 何枚目の媒体であっても工事管理ファイル（INDEX_C.XML）を各媒体のルート直下に添付する。ただし、各工事管理項目のメディア番号は、ラベルに明記してある何枚目／総枚数と整合を取る。

【解説】

成果品を複数枚の媒体に分けて格納する場合の例を以下に示す。

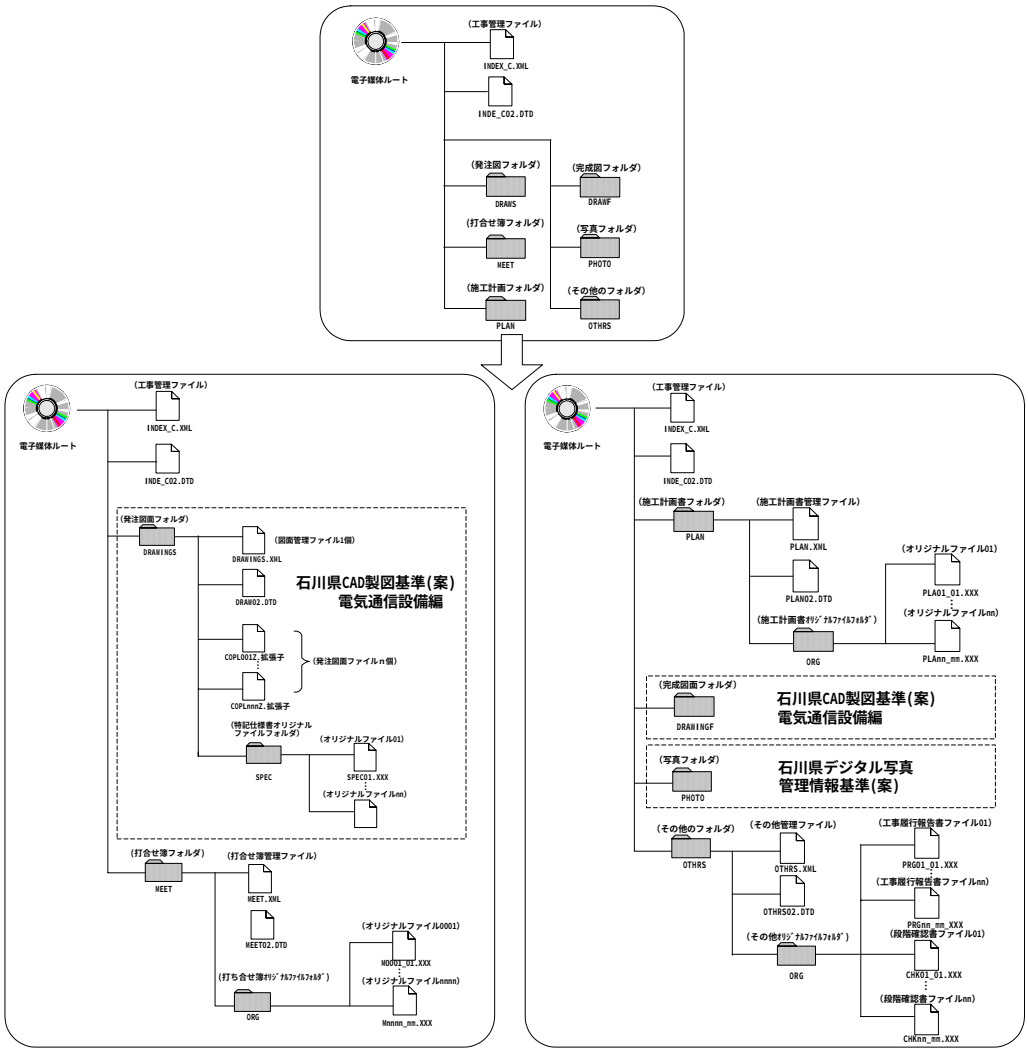


図 7-1　成果品の複数枚の電子媒体への格納例

8 その他留意事項

8-1 ウイルス対策

成果品の電子納品において、納品前には必ず以下の各項目に従ってウイルス対策を行う。

- 請負者は、納品すべき最終成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。
- ウイルス対策ソフトは特に指定はしないが、シェアの高いものを利用する
- 最新のウイルスも検出できるように、ウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用する。
- 納品する媒体のラベルに、ウイルスチェックに関する情報として以下を記載する。

(i) 使用したウイルス対策ソフト名

(ii) ウイルス（パターンファイル）定義年月日またはパターンファイル名

(iii) チェック年月日（西暦表示とする）

8-2　使用文字

報告書の電子データを作成する上での使用文字については、以下の各項目に従うものとする。

- 半角文字を JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いたラテン文字用図形文字のみとする。
- 全角文字を JIS X 0208 で規定されている文字から数字とラテン文字を除いた文字のみとする。

【解説】

(1) 長期的な可読性を確保するため、使用できる文字を必要最小限に絞ることとする。なお、使用文字に関する対象は次の通りとする。

・XML 文書の作成

・オリジナルファイルの作成

・PDF 形式ファイルの作成

(2) もともと OS に備わっておらず、利用者が独自に作成した外字は、他の端末では表示できないので、使用を認めないこととした。地名や人名などの表現で特殊文字が必要な時（利用者が作成した外字や機種依存文字の使用が必要な場合等）は、ひらがなもしくはカタカナなどの標準化された全角文字で表現することとした。ただし、地名や人名で特殊文字の使用がやむをえない場合は、監督員との協議の上、オリジナルファイルはイメージデータとして埋め込むことができることとした。

(3) 文字の定義

1) 全角文字

重複符号化の原則に基づき、全角文字については、JIS X 0208 で規定されている文字から数字とラテン文字を除いた文字。

2) 半角英数字

JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いた文字。

3) 半角英数大文字

「半角英数字」からラテン小文字(LATIN SMALL LETTER A～Z)を除いた文字。

4) 半角数字

JIS X 0201 で規定されている文字のうちの数字（DIGIT ZERO～NINE）及び小数点（．）のみ。

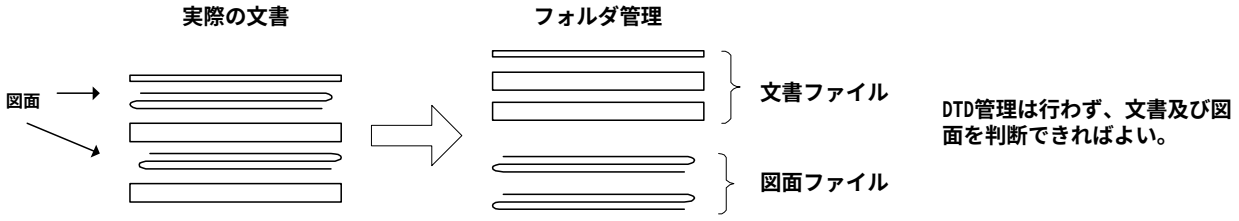
8-3　オリジナルファイルの電子化について

図表等は、基本的には文書ファイルにリンクまたはペーストして管理する。ペーストされた図表等は、属性ファイルで管理を行わず文書内容で図表等を判断できればよいこととする。

また、ペーストしていない図表等は文書ファイルと分離した形で属性ファイルで管理する。なお、属性ファイルでは、図表等の位置（ページ数、図表番号等）を管理しない。

【解説】

オリジナルファイルにペーストされた図表は、XML ファイルの管理を行わないとともに図表等の位置は管理しない。



8-4　電子化が困難な資料の取り扱い

電子化が難しい書類については、請負者・発注者間で事前に協議する必要がある。

【解説】

電子化が難しい書類としては、品質証明書、カタログ、見本など、電子化されていない資料がある。

- 鋼材、鉄筋のミルシート
- セメントの品質証明
- 骨材のアルカリ・シリカ反応性試験結果
- 廃棄物マニフェスト
- 二次製品の品質証明書
- コンクリート品質試験結果

電気通信設備編において当面は、公印や社印等が必要となる下記書類についても同様の扱いとする。

(1) 製造・施工フェーズ

工事請負契約書関係
- 工事請負契約書
- 特記仕様書
- 監督員通知書
- 現場監督員通知書

施工計画書
- 施工計画書
- 施工計画書添付資料　検査内容・書式
- 施工計画書添付資料　手順書類

工事打合簿
- 工事打合簿添付資料　機器承諾図
- 工事打合簿添付資料　検査内容・書式
- 工事打合簿添付資料　手順書類
- 工事打合簿添付資料　強度計算書
- 工事打合簿添付資料　検査成績書

段階確認
- 段階確認書添付資料　検査成績書

品質管理
- 工事打合簿添付資料　強度計算書
- 工事打合簿添付資料　検査成績書
- 工事打合簿添付資料　製品仕様書

完成図書
- 取扱説明書

安全関係
- 安全協議会　規約
- 安全協議会　議事録
- 安全協議会　出席者名簿
- 安全協議会　安全パトロール指摘事項改善報告書
- 安全協議会　安全パトロール指摘事項改善写真
- 安全訓練等実施報告書　安全教育資料

その他
- 道路使用許可申請書　工事場所図面

(2) 点検・維持管理フェーズ

業務関係書類綴り
- 契約書
- 特記仕様書

工事打合簿
- 臨時補修報告書　承諾図（機器構造図）

点検記録
- 点検記録簿（設備毎、場所毎）

調書
- 各種調書類（照明調書、等）

図面
- 完成図
- 位置図

その他
- 点検監視対象機器リスト
- 点検監視対象構成図

付属資料１　電子媒体による管理項目の記入方法について

1　管理項目の記入方法

各管理項目について、下記の書式で各項目の記入方法を示す。

項目名	(1)		
データ表現	(2)	文字数	(3)
概　要	(4)		
記入必要度	(5)		
記入が必要な場合	(6)		
記入例	(7)		
XML 表記例	(8)		
備　考	(9)		
記入規則	(10)		

(1) 項目名

管理項目の名称。

(2) データ表現

記入可能なデータの形式。

各項目に記入する文字種はこの制限に従う。

1) 文字

原則として全角文字記号、半角英数字記号を記入可とする項目。

ただし、項目によっては制限事項があり、(10)記入規則に明示する。

2) 数字

半角数字のみ記入可

(3) 文字数

記入可能な最大文字数を示す。

常にこの文字数で記入する必要がある項目については、(10)記入規則に明示する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

(4) 概要

記入すべき内容を示す。

(5) 記入必要度

記入の必要度を３段階に分類し、各々の記入目安を下記の通りとする。

1) 必須記入項目

必ず記入すべき項目。

特に理由のない限り、必ず記入する。

2) 条件付き必須項目（データが分かる場合は必ず入力する）

原則として、記入すべき内容が明確である場合は必ず記入する。

場合によっては、記入すべき事項が明確でない場合があるので、その場合は空欄のまま提出する。

3) 任意記入項目

原則として、記入の必要はなく空欄のまま提出する。

特記すべき事項があった場合のみ記入する。

なお、空欄の項目については、INDEX_C.XML に出力する必要はない。

(6) 記入が必要な場合

条件付き必須項目、任意記入項目について、記入を行う条件を示す。

(7) 記入例

記入例を示す。

(8) XML 表記例

記入例で示した項目について、管理情報ファイル(XML ファイル)での表記例を示す。

(9) 備考

記入内容など、各項目に関する補足を示す。

(10) 記入規則

記入できる文字に関する制限や記入すべき桁数に関する制限など、記入規則に関わる制限事項を示す。

2 工事管理項目の記入方法

2-1 基礎情報

(1) メディア番号

項目名	メディア番号		
データ表現	半角数字	文字数	8
概　要	工事管理の情報項目に含まれる電子媒体のメディア番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	3 枚組 CD-ROM の“2 枚目”であった場合。 メディア番号：2		
XML 表記例	<メディア番号>2</メディア番号>		
備　考	一連のまとまった工事管理について、格納されている電子媒体を記入する。単一の電子媒体であれば、すべて“1”となる。		
記入規則	半角数字のみ使用する。空欄不可。		

(2) メディア総枚数

項目名	メディア総枚数		
データ表現	半角数字	文字数	8
概　要	成果品電子媒体の総枚数を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	総枚数が“3 枚”であった場合。 メディア総枚数：3		
XML 表記例	<メディア総枚数>3</メディア総枚数>		
備　考	なし		
記入規則	半角数字のみ使用する。空欄不可。		

(3) 発注図面フォルダ名

項目名	発注図面フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	発注図の図面ファイルを格納するフォルダ名を「DRAWINGS.XML」に記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 図面フォルダ名：DRAWINGS		
XML 表記例	<図面フォルダ名> DRAWINGS </図面フォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(4) 特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名

項目名	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	特記仕様書のオリジナルファイルを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名：DRAWINGS/SPEC		
XML 表記例	<特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGS/SPEC</特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(5) 打合せ簿フォルダ名

項目名	打合せ簿フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	「打合せ簿」ファイル、「打合せ簿管理」ファイルと「打合せ簿オリジナルファイル」フォルダを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 打合せ簿フォルダ名：MEET		
XML 表記例	<打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(6) 打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名

項目名	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	打合せ簿のオリジナルファイルを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名：MEET/ORG		
XML 表記例	<打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(7) 施工計画書フォルダ名

項目名	施工計画書フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	「施工計画書管理」ファイルと「施工計画書オリジナルファイル」フォルダを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 施工計画書フォルダ名：PLAN		
XML 表記例	<施工計画書フォルダ名>PLAN </施工計画書フォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(8) 施工計画書オリジナルファイルフォルダ名

項目名	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	施工計画書のオリジナルファイルを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 施工計画書オリジナルファイルフォルダ名：PLAN/ORG		
XML 表記例	<施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(9) 完成図面フォルダ名

項目名	完成図面フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	完成図の図面ファイルを格納するフォルダ名を「DRAWINGF.XML」に記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 データフォルダ名：DRAWINGF		
XML 表記例	<データフォルダ名>DRAWINGF </データフォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(10)　写真フォルダ名

項目名	写真フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	「写真」フォルダ、「参考図」フォルダと「写真属性情報」ファイルを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 写真フォルダ名：PHOTO		
XML 表記例	<写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(11)　その他フォルダ名

項目名	その他フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	「その他管理」ファイルと「その他オリジナルファイル」フォルダを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 その他フォルダ名：OTHRS		
XML 表記例	<その他フォルダ名>OTHRS </その他フォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(12)　その他オリジナルファイルフォルダ名

項目名	その他オリジナルファイルフォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	「工事履行報告書」と「段階確認書」のオリジナルファイルを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 その他オリジナルファイルフォルダ名：OTHRS/ORG		
XML 表記例	<その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHRS/ORG </その他オリジナルファイルフォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(13)　設備図書フォルダ名

項目名	設備図書フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	「設備図書管理」ファイルと「設備図書オリジナルファイル」フォルダを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 設備図書フォルダ名： FACILITY		
XML 表記例	<設備図書フォルダ名>FACILITY </設備図書ファルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(14)　設備図書オリジナルファイルフォルダ名

項目名	設備図書オリジナルファイルフォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概　要	設備図書のオリジナルファイルを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のとおり記入する。 設備図書オリジナルファイルフォルダ名： FACILITY		
XML 表記例	<設備図書オリジナルファイルフォルダ名>FACILITY </設備図書オリジナルファイルフォルダ名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

2-2　ソフトウェア情報

(1) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェア名が“工事管理ファイル作成簡易システム”であった場合。 ソフトウェア名：工事管理ファイル作成簡易システム		
XML 表記例	<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(2) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアのバージョン情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須項目（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェアが“工事管理ファイル作成簡易システム Ver1.0”であった場合。 バージョン情報：1.0		
XML 表記例	<バージョン情報>1.0</バージョン情報>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(3) メーカ名

項目名	メーカ名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカ名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須項目（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ名が“○○株式会社”であった場合。 メーカ名：○○株式会社		
XML 表記例	<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(4) メーカ連絡先

項目名	メーカ連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須項目（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ連絡先が“○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx”であった場合。 メーカ連絡先：○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx		
XML 表記例	<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(5) ソフトメーカ用 TAG

項目名	ソフトメーカ用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	ソフトウェアメーカ予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカが管理のために使用する。		
記入例	― 省略 ―		
XML 表記例	― 省略 ―		
備　考	なし		
記入規則	INDEX_C.XML を他の工事管理ファイル作成ソフトで修正した場合は、必要に応じて、上書きまたは削除する。		

2-3　工事情報

(1) 発注年度

項目名	発注年度		
データ表現	半角数字	文字数	4
概　要	工事の発注年度を西暦 4 桁で記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	平成 10 年度発注の工事の場合。 発注年度：1998		
XML 表記例	<発注年度>1998</発注年度>		
備　考	なし		
記入規則	必ず半角数字 4 桁で記入する。空欄不可。		

(2) 工事番号

項目名	工事番号		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概　要	発注者が定める設計書番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	石川県発注の工事で、設計書番号が“15G39001001”の場合。 工事番号：15G39001001		
XML 表記例	<工事番号>15G39001001</工事番号>		
備　考	石川県発注工事の場合は発注機関単位で設定している設計書番号を記入する。 ※他の発注機関の場合には、発注者の指示に従う。		
記入規則	空欄不可。		

(3) 路線水系名等

項目名	路線水系名等		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	路線水系名施工対象区域に関する記述を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	工事対象の路線水系名が明確である場合は記入する。		
記入例	“○○○○”に関わる工事であった場合。 路線水系名：○○○○		
XML 表記例	<路線水系名>○○○○</路線水系名>		
備　考	当該項目は、CORINS の「路線・水系名等」に相当する。 CORINS とは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいう。 複数の路線水系にまたがる工事の場合、関連する路線水系名を全て記入する。 路線水系の区切りは「,」（半角カンマ）を用いる。		
記入規則	CORINS の「路線・水系名等」の入力規則に従い、道路の路線番号、河川の水系名、建築工事にあっては最終施設名、及び分割工事の何期工事かを、記入する。		

(4) 工事名称

項目名	工事名称		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	CORINS の「工事件名」に従って記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工事名称が“○○受変電・発電設備工事”であった場合。 工事名称：○○受変電・発電設備工事		
XML 表記例	<工事名称>○○受変電・発電設備工事</工事名称>		
備　考	当該項目は、CORINS の「工事件名」に相当する。		
記入規則	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。空欄不可。		

(5) 工事分野

項目名	工事分野		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	16
概　要	CORINS の「工事の分野」に従って記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工事分野が“電気”であった場合。 工事分野：電気		
XML 表記例	<工事分野>電気</工事分野>		
備　考	当該項目は、CORINS の「工事の分野」に相当する。 CORINS とは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいい、工事の分野一覧は同センターが提供している。		
記入規則	空欄不可。		

(6) 工事業種

項目名	工事業種		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	16
概　要	CORINS の「工事の業種」に従って記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工事の種類が“電気工事”であった場合。 工事種類：電気工事		
XML 表記例	<工事種類>電気工事</工事種類>		
備　考	当該項目は、CORINS の「工事の業種」に相当する。 CORINS とは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいい、工事業種一覧は同センターが提供している。		
記入規則	空欄不可。 （土木一式工事、建築一式工事、大工工事、電気工事、電気通信工事等）		

(7) 工種

項目名	工種		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	CORINS の「工種、工法・型式」の工種を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工種、工法・型式が“電気工事／建設電気設備工”であった場合。 工種：電気工事		
XML 表記例	<工種>電気工事</工種> <工種>○○○○</工種>		
備　考	CORINS とは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいい、工種、工法・型式一覧は同センターが提供している。		
記入規則	空欄不可。複数記入可。 （機械器具設置工事、電気工事、通信工事等）		

(8) 工法型式

項目名	工法型式		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	CORINS の「工種、工法・型式」の工法・型式を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工種、工法・型式が“電気工事／建設電気設備工”であった場合。 工法型式：建設電気設備工		
XML 表記例	<工法型式>建設電気設備工</工法型式>		
備　考	CORINS とは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいい、工種、工法・型式一覧は同センターが提供している。		
記入規則	複数記入可。 （建設電気設備工、建築電気設備工、通信工等）		

(9) 住所コード

項目名	住所コード		
データ表現	半角数字	文字数	5
概　要	CORINS で使用する「施工場所コード」を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	施工場所が“石川県金沢市”であった場合。 住所コード：17201		
XML 表記例	<住所コード>17201</住所コード>		
備　考	当該項目は、CORINS の「施工場所コード」に相当する。 CORINS とは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいい、施工場所コードは同センターが提供している。		
記入規則	代表地点又は、施工場所の開始場所および終了場所のコードを CORINS の「施工場所コード」より選択し、記入する。複数記入可。 その他の場合の記入規則は CORINS の入力規則に従うものとする。空欄不可。		

(10)　住所　（施工場所）

項目名	住所　（施工場所）		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	施工場所（代表地点）の住所（県名以下）を詳細に記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	施工場所の住所が“石川県金沢市○○○１２３４”であった場合。 住所：石川県金沢市○○○１２３４		
XML 表記例	<住所>石川県金沢市○○○１２３４</住所>		
備　考	当該項目は、CORINS の「施工場所」に相当する。 CORINS とは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいう。		
記入規則	空欄不可。複数記入可。 代表地点又は、施工場所の開始場所および終了場所(県名以下の住所)を、出来る限り詳細に記入する。		

(11)　工期開始日

項目名	工期開始日		
データ表現	半角数字	文字数	10
概　要	工期の開始日を CCYY-MM-DD 方式で記入する。 （CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日）		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工期が“平成 10 年 11 月 6 日より平成 11 年 2 月 26 日まで”であった場合。 工期開始日：1998-11-06		
XML 表記例	<工期開始日>1998-11-06</工期開始日>		
備　考	当該項目は、CORINS の「工期 開始日」に相当する。		
記入規則	月日が 1 桁の数の場合”0”を付加して、必ず 10 桁で記入する。空欄不可。 例）平成 11 年 1 月 1 日　→　“1999-01-01” 工事中止期間等の実工期の記載は不要。		

(12)　工期終了日

項目名	工期終了日		
データ表現	半角数字	文字数	10
概　要	工期の終了日を CCYY-MM-DD 方式で記入する。 （CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日）		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工期が“平成 10 年 11 月 06 日より平成 11 年 2 月 26 日まで”であった場合。 工期終了日：1999-02-26		
XML 表記例	<工期終了日>1999-02-26</工期終了日>		
備　考	当該項目は、CORINS の「工期 終了日」に相当する。		
記入規則	月または日が 1 桁の数の場合”0”を付加して、必ず 10 桁で記入する。空欄不可。 例）平成 11 年 1 月 1 日　→　“1999-01-01” 工事中止期間等の実工期の記載は、不要です。		

(13)　工事内容

項目名	工事内容		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	工事概要及び主工種とその数量を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工種が“受変電設備、自家発電設備”であった場合。 工事内容：受変電設備更新 6600V/150kVA、自家発電設備更新 210V/150kVA		
XML 表記例	<工事内容>受変電設備更新 6600V/150kVA、自家発電設備更新 210V/150kVA</工事内容>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。 複数の設備がある場合は主な仕様を半角スラッシュ(/)で区切り、設備を全角カンマ(、)で区切る。		

(14)　起点側測点-n

項目名	起点側測点-n		
データ表現	半角英数字	文字数	4
概　要	起点側測点を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合		
記入例	起点側測点-n の n＋m の n が “ 0015 ” であった場合。 起点側測点-n：0015		
XML 表記例	<起点側測点-n>0015</起点側測点-n>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(15)　起点側測点-m

項目名	起点側測点-m		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概　要	起点側測点を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合		
記入例	起点側測点-m の n＋m の m が “ 008 ” であった場合。 起点側測点-m：008		
XML 表記例	<起点側測点-m>008</起点側測点-m>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(16)　終点側測点-n

項目名	終点側測点-n		
データ表現	半角英数字	文字数	4
概　要	終点側測点を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合		
記入例	終点側測点-n の n＋m の n が “ 0018 ” あった場合。 終点側測点-n：0018		
XML 表記例	<終点側測点-n>0018</終点側測点-n>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(17)　終点側測点-m

項目名	終点側測点-m		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概　要	終点側測点を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合		
記入例	終点側測点-m の n＋m の m が “ 005 ” であった場合。 終点側測点-m：005		
XML 表記例	<終点側測点-m>005</終点側測点-m>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(18)　起点側距離標-n

項目名	起点側距離標-n		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概　要	起点側距離標を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合		
記入例	起点側距離標-n の n＋m の n が“ 031 ”であった場合。 起点側距離標-n：031		
XML 表記例	<起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(19)　起点側距離標-m

項目名	起点側距離標-m		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概　要	起点側距離標を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合		
記入例	起点側距離標-m の n＋m の m が“ 045 ”であった場合。 起点側距離標-m：045		
XML 表記例	<起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(20)　終点側距離標-n

項目名	終点側距離標-n		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概　要	終点側距離標を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合		
記入例	終点側距離標-n の n＋m の n が“ 036 ”であった場合。 終点側距離標-n：036		
XML 表記例	<終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(21)　終点側距離標-m

項目名	終点側距離標-m		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概　要	終点側距離標を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合		
記入例	終点側距離標-m の n＋m の m が“ 067 ”であった場合。 終点側距離標-m：067		
XML 表記例	<終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(22)　西側境界座標経度

項目名	西側境界座標経度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概　要	対象領域の最西端の外側境界を経度で記入。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	西側境界の経度が“138 度 37 分 30 秒”であった場合。 西側境界座標経度：1383730		
XML 表記例	<西側境界座標経度>1383730 </西側境界座標経度>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(23)　東側境界座標経度

項目名	東側境界座標経度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概　要	対象領域の最東端の外側境界を経度で記入。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	東側境界の経度が“138 度 45 分 00 秒”であった場合。 東側境界座標経度：1384500		
XML 表記例	<東側境界座標経度>1384500 </東側境界座標経度>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(24)　北側境界座標緯度

項目名	北側境界座標緯度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概　要	対象領域の最北端の外側境界を緯度で記入。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	北側境界の緯度が“35 度 35 分 00 秒”であった場合。 北側境界座標緯度：0353500		
XML 表記例	<北側境界座標緯度>0353500 </北側境界座標緯度>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(25)　南側境界座標緯度

項目名	南側境界座標緯度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概　要	対象領域の最南端の外側境界を緯度で記入。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	南側境界の緯度が“35 度 20 分 00 秒”であった場合。 南側境界座標緯度：0352000		
XML 表記例	<南側境界座標緯度>0352000 </南側境界座標緯度>		
備　考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(26)　施設名称

項目名	施設名称		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	施設名称を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	施設情報を記入する場合		
記入例	施設名称が、“ ○○トンネル ”であった場合。 施設名称：○○トンネル		
XML 表記例	<施設名称>○○トンネル</施設名称>		
備　考	なし		
記入規則	施設名称とは施設全体の名称で、設備の名称ではない。 土木工事、建築工事等が混在している場合は共通の名称となる。		

(27)　発注者-大分類

項目名	発注者-大分類		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	16
概　要	省庁名、団体名などの発注者に関する大分類を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	発注者が “ 石川県土木事務所○○土木事務所 ” の場合。 発注者-大分類：石川県		
XML 表記例	<発注者-大分類>石川県</発注者-大分類>		
備　考	当該項目は、CORINS の「発注機関名・中分類」に相当する。		
記入規則	略称を用いず、正式名称で記入する。空欄不可。		

(28)　発注者-中分類

項目名	発注者-中分類		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	32
概　要	局名、支社名などの発注者に関する中分類を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	発注者が“石川県土木事務所○○土木事務所”の場合。 発注者-中分類：土木事務所		
XML 表記例	<発注者-中分類>土木事務所</発注者-中分類>		
備　考	当該項目は、CORINS の「発注機関名・小分類」に相当する。		
記入規則	略称を用いず、正式名称で記入する。空欄不可。 農林水産部の場合は、農林総合事務所と記入する。		

(29)　発注者-小分類

項目名	発注者-小分類		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	16
概　要	事務所名などの発注者に関する小分類を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	発注者が“石川県土木事務所○○土木事務所”の場合。 発注者-小分類：○○土木事務所		
XML 表記例	<発注者-小分類>○○土木事務所</発注者-小分類>		
備　考	当該項目は、CORINS の「発注機関名・細分類」に相当する。		
記入規則	略称を用いず、正式名称で記入する。空欄不可。		

(30) 発注者コード

項目名	発注者コード		
データ表現	半角数字	文字数	8
概　要	CORINS で使用する発注機関 コードを記入する。 大分類（1 桁）、中分類（2 桁）、小分類（2 桁）、細分類（3 桁）をあわせ、8 桁で取り扱う。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	発注者コードが“ 21701104 ”であった場合。 発注者コード：21701104		
XML 表記例	<発注者コード>21701104</発注者コード>		
備　考	当該項目は、CORINS の「発注機関コード」に相当する。 CORINS とは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいい、発注機関コードは同センターが提供している。		
記入規則	CORINS の「発注機関コード」に従い、必ず半角 8 桁で記入する。空欄不可。		

(31) 請負者名

項目名	請負者名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	請負者名の正式名称を記入する。JV の場合には、JV の正式名称及び代表会社名を続けて記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	請負者が“ 株式会社○○○ ”であった場合 請負者名：　株式会社○○○		
XML 表記例	<請負者名>株式会社○○○</請負者名>		
備　考	当該項目は、CORINS の「請負会社名」に相当する。		
記入規則	正式名称で記入する。 JV（特定・経常）の場合には、代表を記入することとする。空欄不可。		

(32)　請負者コード

項目名	請負者コード		
データ表現	半角数字	文字数	127
概　要	発注者が定める請負者コードを記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	発注者により請負者コードが定められている場合。 地方公共団体等で国土交通省の定めたコードを準用している場合も同様とする。		
記入例	国土交通省関東地方整備局への工事業者登録番号が“○○○”であった場合。 請負者コード：○○○		
XML 表記例	<請負者コード>○○○</請負者コード>		
備　考	発注者の運用している請負者コードを記入する。国土交通省では各地方整備局で請負者コードを整備している。		
記入規則	なし		

(33)　予備

項目名	予備		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	工事内容等に関する備考欄。予備欄		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	発注者側で特筆すべき予備項目がある場合は記入する。 （複数の施設情報を記入する必要がある場合）		
記入例	― 省略 ―		
XML 表記例	― 省略 ―		
備　考	なし		
記入規則	複数記入可。 施設情報で表現できなかった設備情報等、必要があればこの項目を使う。		

3 打合せ簿管理項目の記入方法

3-1 ソフトウェア情報

(1) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェア名が“工事管理ファイル作成簡易システム”であった場合。 ソフトウェア名：工事管理ファイル作成簡易システム		
XML 表記例	<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(2) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアのバージョン情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェアが“工事管理ファイル作成簡易システム Ver1.0”であった場合。 バージョン情報：1.0		
XML 表記例	<バージョン情報>1.0</バージョン情報>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(3) メーカ名

項目名	メーカ名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカ名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ名が“○○株式会社”であった場合。 メーカ名：○○株式会社		
XML 表記例	<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(4) メーカ連絡先

項目名	メーカ連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ連絡先が“○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx”であった場合。 メーカ連絡先：○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx		
XML 表記例	<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(5) ソフトメーカ用 TAG

項目名	ソフトメーカ用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	ソフトウェアメーカ予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカが管理のために使用する。		
記入例	― 省略 ―		
XML 表記例	― 省略 ―		
備　考	なし		
記入規則	INDEX_C.XML を他の工事管理ファイル作成ソフトで修正した場合は、必要に応じて、上書きまたは削除する。		

3-2　打合せ簿情報

(1) シリアル番号

項目名	シリアル番号		
データ表現	半角数字	文字数	15
概　要	打合せ簿の通し番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	打合せ簿ファイルが“2つ目”の打合せ簿であった場合。 シリアル番号：2		
XML 表記例	<シリアル番号>2</シリアル番号>		
備　考	なし		
記入規則	シリアル番号は 1 より開始する。 提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった打合せ簿についてユニークであれば、中抜けしても良い。 12 番目を、“00012”の様に 0 を付けて表現してはいけない。空欄不可。		

(2) 打合せ簿種類

項目名	打合せ簿種類		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	16
概　要	打合せ簿の種類を記入する。(「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」)		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	打合せ簿種類が“提出”であった場合。 打合せ簿種類：提出		
XML 表記例	<打合せ簿種類>提出</打合せ簿種類>		
備　考	「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」の 7 種類とする。 添付資料が電子化できない場合は、鏡としての打合せ簿のみを電子納品対象とする。		
記入規則	空欄不可。		

(3) 打合せ簿名称

項目名	打合せ簿名称		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	40
概　要	打合せ簿の標題を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	打合せ簿名称が“○○○に関する協議”であった場合。 打合せ簿名称：○○○に関する協議		
XML 表記例	<打合せ簿名称>○○○に関する協議</打合せ簿名称>		
備　考	打合せ簿の標題を記入する。		
記入規則	空欄不可。		

(4) 管理区分

項目名	管理区分		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	16
概　要	管理区分を記入する。 （施工管理、安全管理、出来形管理、品質管理、出来高管理、原価管理、工程管理、写真管理等）		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	書類の管理区分が明確であれば記入する。		
記入例	管理区分が“施工管理”であった場合。 管理区分：施工管理		
XML 表記例	<管理区分>施工管理</管理区分>		
備　考	なし		
記入規則	管理区分を記入する。 （施工管理、安全管理、出来形管理、品質管理、出来高管理、原価管理、工程管理、写真管理等）		

(5) 打合せ簿番号

項目名	打合せ簿番号		
データ表現	半角英数字	文字数	15
概　要	打合せ簿に記載している番号を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	打合せ簿に番号が記載されている場合に記入する。		
記入例	打合せ簿番号が“A-1-012”であった場合。 打合せ簿番号：A-1-012		
XML 表記例	<打合せ簿番号>A-1-012</打合せ簿番号>		
備　考	なし		
記入規則	なし		

(6) 作成者

項目名	作成者		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	40
概　要	打合せ簿の作成者を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	打合せ簿の作成者が“請負者：現場代理人”であった場合。 作成者：請負者：現場代理人 打合せ簿の作成者が“請負者：主任技術者”であった場合。 作成者：請負者：主任技術者 打合せ簿の作成者が“発注者：現場監督員”であった場合。 作成者：発注者：現場監督員		
XML 表記例	<作成者>請負者：現場代理人 </作成者> <作成者>請負者：主任技術者</作成者> <作成者>発注者：現場監督員</作成者>		
備　考	なし		
記入規則	打合せ簿の作成者を記入する。空欄不可。 （請負者：現場代理人、請負者：主任技術者、発注者：現場監督員など）		

(7) 提出先

項目名	提出先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	40
概　要	打合せ簿の提出先（発注者、請負者）を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	・打合せ簿の提出先が“発注者”であった場合。 提出先：発注者 ・打合せ簿の提出先が“請負者”であった場合。 提出先：請負者		
XML 表記例	<提出先>発注者</提出先> <提出先>請負者</提出先>		
備　考	発注者は具体的に国土交通省○○地方整備局○○河川国道事務所、請負者は○○株式会社等としても良い。		
記入規則	空欄不可。		

(8) 発行日付

項目名	発行日付		
データ表現	半角数字	文字数	10
概　要	発行元が打合せ簿を発行した日付を CCYY-MM-DD 方式(西暦年月日)で記入する。 （CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日）		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	打合せ簿を発行した日付が“平成 14 年 9 月 9 日”であった場合。 発行日付：2002-09-09		
XML 表記例	<発行日付>2002-09-09</発行日付>		
備　考	なし		
記入規則	月日が 1 桁の数の場合“0”を付加して、必ず 10 桁で記入する。空欄不可。 例）平成１１年１月１日　→　“1999-01-01”		

(9) 受理日付

項目名	受理日付		
データ表現	半角数字	文字数	10
概　要	提出先担当者が打合せ簿を受理した日付を CCYY-MM-DD 方式(西暦年月日)で記入する。（CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日）		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	打合せ簿を受理した日付が“平成 14 年 9 月 9 日”であった場合。 受理日付：2002-09-09		
XML 表記例	<受理日付>2002-09-09</受理日付>		
備　考	なし		
記入規則	月日が 1 桁の数の場合“ 0 ”を付加して、必ず 10 桁で記入する。空欄不可。 例）平成１１年１月１日　→　“1999-01-01”		

(10)　完了日付

項目名	完了日付		
データ表現	半角数字	文字数	10
概　要	発注者又は請負者が処理・回答した日付を CCYY-MM-DD 方式(西暦年月日)で記入する。（CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日）		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	書類に記載がある場合に記入する。		
記入例	発注者又は請負者が処理・回答した日付が“平成 14 年 9 月 9 日”であった場合。 完了日付：2002-09-09		
XML 表記例	<完了日付>2002-09-09</完了日付>		
備　考	なし		
記入規則	月日が 1 桁の数の場合“ 0 ”を付加して、必ず 10 桁で記入する。 例）平成 11 年 1 月 1 日　→　“1999-01-01”		

(11)　オリジナルファイル情報

1)　打合せ簿オリジナルファイル名

項目名	打合せ簿オリジナルファイル名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	12
概　要	打合せ簿のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	打合せ簿のオリジナルファイル名が“M0001_01.DOC”であった場合。 打合せ簿オリジナルファイル名：M0001_01.DOC		
XML 表記例	<打合せ簿オリジナルファイル名>M0001_01.DOC</打合せ簿オリジナルファイル名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

2)　打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報

項目名	打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	打合せ簿を作成したソフト名とバージョン情報を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	打合せ簿のオリジナルファイル作成ソフトが“Microsoft_Word_98”であった場合。 打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報：Microsoft_Word_98		
XML 表記例	<打合せ簿のオリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Word_98</打合せ簿のオリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>		
備　考	発注者が理解できる範囲で記入する。 （どのソフト又どのバージョンであるか、分かるように記入する。）		
記入規則	空欄不可。		

3)　オリジナルファイル内容

項目名	オリジナルファイル内容		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	オリジナルファイルの内容を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	オリジナルファイルの内容が“本文”であった場合。 　オリジナルファイルの内容：本文 オリジナルファイルの内容が“資料：工程表”であった場合。 　オリジナルファイルの内容：資料：工程表		
XML 表記例	<オリジナルファイル内容>本文</オリジナルファイル内容> <オリジナルファイル内容>資料：工程表</オリジナルファイル内容>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(12)　その他

1)　請負者説明文

項目名	請負者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他、打合せ簿に関して請負者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	なし		

2)　発注者説明文

項目名	発注者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他、打合せ簿に関して発注者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	発注者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	なし		

3)　予備

項目名	予備		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	説明文以外で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	複数記入可。		

4 施工計画書管理項目の記入方法

4-1 ソフトウェア情報

(1) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェア名が“工事管理ファイル作成簡易システム”であった場合。 ソフトウェア名：工事管理ファイル作成簡易システム		
XML 表記例	<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(2) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアのバージョン情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェアが“工事管理ファイル作成簡易システム Ver1.0”であった場合。 バージョン情報：1.0		
XML 表記例	<バージョン情報>1.0</バージョン情報>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(3) メーカ名

項目名	メーカ名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカ名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ名が“○○株式会社”であった場合。 メーカ名：○○株式会社		
XML 表記例	<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(4) メーカ連絡先

項目名	メーカ連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ連絡先が“○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx”であった場合。 メーカ連絡先：○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx		
XML 表記例	<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(5) ソフトメーカ用 TAG

項目名	ソフトメーカ用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	ソフトウェアメーカ予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカが管理のために使用する。		
記入例	― 省略 ―		
XML 表記例	― 省略 ―		
備　考	なし		
記入規則	INDEX_C.XML を他の工事管理ファイル作成ソフトで修正した場合は、必要に応じて、上書きまたは削除する。		

4-2　施工計画書情報

(1) シリアル番号

項目名	シリアル番号		
データ表現	半角数字	文字数	15
概　要	施工計画書の通し番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	施工計画書ファイルが“2つ目の施工計画書”であった場合。 シリアル番号：2		
XML 表記例	<シリアル番号>2</シリアル番号>		
備　考	なし		
記入規則	シリアル番号は 1 より開始する。空欄不可。 12 枚目を、“00012”の様に 0 を付けて表現してはいけない。		

(2) 施工計画書名称

項目名	施工計画書名称		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	40
概　要	施工計画書の標題を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	施工計画書名称が“○○施工計画書”であった場合。 施工計画書名称：○○施工計画書		
XML 表記例	<施工計画書名称>○○施工計画書</施工計画書名称>		
備　考	施工計画書の標題をそのまま記入する。		
記入規則	空欄不可。		

(3) オリジナルファイル情報

1) 施工計画書オリジナルファイル名

項目名	施工計画書オリジナルファイル名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	12
概　要	施工計画書の文書、図面等のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	施工計画書のオリジナルファイル名が“ PLA01_01.DOC ”であった場合。 施工計画書オリジナルファイル名：PLA01_01.DOC		
XML 表記例	<施工計画書オリジナルファイル名> PLA01_01.DOC </施工計画書オリジナルファイル名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

2) 施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報

項目名	施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	施工計画書作成ソフト名とバージョン情報を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	施工計画書オリジナルファイル作成ソフトが“ Microsoft_Word_98 ”であった場合。 施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報：Microsoft_Word_98		
XML 表記例	<施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報> Microsoft_Word_98</施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>		
備　考	発注者が理解できる範囲で記入する。 （どのソフト又どのバージョンであるか、分かるように記入する。）		
記入規則	空欄不可。		

3)　オリジナルファイル内容

項目名	オリジナルファイル内容		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	オリジナルファイル内容を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	オリジナルファイルの内容が“現場組織表”であった場合。 オリジナルファイル内容：現場組織表		
XML 表記例	<オリジナルファイル内容>現場組織表</オリジナルファイル内容>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(4) その他

1) 請負者説明文

項目名	請負者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他、施工計画書に関して請負者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	なし		

2) 発注者説明文

項目名	発注者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他、施工計画書に関して発注者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	発注者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	なし		

3)　予備

項目名	予備		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	説明文以外で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	複数記入可。		

5 その他資料管理項目の記入方法

5-1 ソフトウェア情報

(1) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェア名が“ 工事管理ファイル作成簡易システム”であった場合。 ソフトウェア名：工事管理ファイル作成簡易システム		
XML 表記例	<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(2) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアのバージョン情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェアが“ 工事管理ファイル作成簡易システム Ver1.0 ”であった場合。 バージョン情報：1.0		
XML 表記例	<バージョン情報>1.0</バージョン情報>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(3) メーカ名

項目名	メーカ名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカ名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ名が“○○株式会社”であった場合。 メーカ名：○○株式会社		
XML 表記例	<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(4) メーカ連絡先

項目名	メーカ連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ連絡先が“○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx”であった場合。 メーカ連絡先：○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx		
XML 表記例	<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(5) ソフトメーカ用 TAG

項目名	ソフトメーカ用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	ソフトウェアメーカ予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカが管理のために使用する。		
記入例	― 省略 ―		
XML 表記例	― 省略 ―		
備　考	なし		
記入規則	INDEX_C.XML を他の工事管理ファイル作成ソフトで修正した場合は、必要に応じて、上書きまたは削除する。		

5-2　その他資料情報

(1) シリアル番号

項目名	シリアル番号		
データ表現	半角英数字	文字数	15
概　要	工事履行報告書又は段階確認書に付けられている番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	資料「工事履行報告書」が“2 番目”の資料であった場合。 シリアル番号：2		
XML 表記例	<シリアル番号>2</シリアル番号>		
備　考	なし		
記入規則	シリアル番号は 1 より開始する。 提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった資料についてユニークであれば、中抜けしても良い。 2 番目を、“00002”の様に 0 を付けて表現してはいけない。空欄不可。		

(2) 資料名

項目名	資料名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	40
概　要	工事履行報告書又は段階確認書の標題を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	資料名が“段階確認書”であった場合。 資料名：段階確認書		
XML 表記例	<資料名>段階確認書</資料名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(3) その他資料種類

項目名	その他資料種類		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	16
概　要	その他資料の種類を記入する。（「工事履行報告書」「段階確認書」）		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	その他資料が“段階確認書”であった場合。 その他資料種類：段階確認書		
XML 表記例	<その他資料種類>段階確認書</その他資料種類>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(4) 保管場所

項目名	保管場所		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	40
概　要	その他資料の保管場所を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	供試体など電子化できないものがあれば、納品時の保管場所（箱やバインダ番号）を記入する。		
記入例	保管場所“○○○バインダ(その 1)”とした場合。 保管場所：○○○バインダ(その 1)		
XML 表記例	<保管場所>○○○バインダ(その 1)</保管場所>		
備　考	なし		
記入規則	なし		

(5) オリジナルファイル情報

1) その他資料オリジナルファイル名

項目名	その他資料オリジナルファイル名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	12
概　要	工事履行報告書・段階確認書のオリジナルファイル名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	その他資料のオリジナルファイル名が“ PRG01_01.DOC ”であった場合。 その他資料オリジナルファイル名：PRG01_01.DOC		
XML 表記例	<その他資料オリジナルファイル名>PRG01_01.DOC</その他資料オリジナルファイル名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

2) その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報

項目名	その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事履行報告書・段階確認書を作成したソフト名とバージョン情報を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	その他資料オリジナルファイル作成ソフトが“ Microsoft_Word_98 ”であった場合。 その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報： Microsoft_Word_98		
XML 表記例	<その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報> Microsoft_Word_98</その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>		
備　考	発注者が理解できる範囲で記入する。 （どのソフト又どのバージョンであるか、分かるように記入する。）		
記入規則	空欄不可。		

3)　オリジナルファイル内容

項目名	オリジナルファイル内容		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	オリジナルファイルの内容を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	オリジナルファイル内容が“工事履行報告書”であった場合。 オリジナルファイル内容：工事履行報告書 オリジナルファイル内容が“段階確認書”であった場合。 オリジナルファイル内容：段階確認書		
XML 表記例	<オリジナルファイル内容>工事履行報告書</オリジナルファイル内容> <オリジナルファイル内容>段階確認書</オリジナルファイル内容>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(6) その他

1)　請負者説明文

項目名	請負者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他資料等に関して請負者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	なし		

2)　発注者説明文

項目名	発注者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他資料等に関して発注者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	発注者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	なし		

3)　予備

項目名	予備		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他資料に関するその他の予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	複数記入可。		

6 設備図書管理項目

6-1 ソフトウェア情報

(1) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェア名が“ 工事管理ファイル作成簡易システム”であった場合。 ソフトウェア名：工事管理ファイル作成簡易システム		
XML 表記例	<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(2) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアのバージョン情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	工事管理ファイル作成ソフトウェアが“ 工事管理ファイル作成簡易システム Ver1.0 ”であった場合。 バージョン情報：1.0		
XML 表記例	<バージョン情報>1.0</バージョン情報>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(3) メーカ名

項目名	メーカ名		
データ表現	全角文字半角英数字	文字数	64
概　要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカ名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ名が“○○株式会社”であった場合。　メーカ名：○○株式会社		
XML 表記例	<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(4) メーカ連絡先

項目名	メーカ連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概 要	工事管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_C.XML の作成及び修正に工事管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカ連絡先が“○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx”であった場合。 メーカ連絡先：○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx		
XML 表記例	<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxx FAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>		
備　考	なし		
記入規則	工事管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。INDEX_C.XML ファイルを他の工事管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(5) ソフトメーカ用 TAG

項目名	ソフトメーカ用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	ソフトウェアメーカ予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカが管理のために使用する。		
記入例	― 省略 ―		
XML 表記例	― 省略 ―		
備　考	なし		
記入規則	INDEX_C.XML を他の工事管理ファイル作成ソフトで修正した場合は、必要に応じて、上書きまたは削除する。		

6-2　設備図書情報

(1) シリアル番号

項目名	シリアル番号		
データ表現	半角数字	文字数	15
概　要	設備図書の通し番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	設備図書ファイルが“2つ目”の施工計画書であった場合。 シリアル番号：2		
XML 表記例	<シリアル番号>2</シリアル番号>		
備　考	なし		
記入規則	シリアル番号は 1 より開始する。空欄不可。 12 枚目を、“00012”の様に 0 を付けて表現してはいけない。		

(2) 設備図書名称

項目名	設備図書名称		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	40
概　要	設備図書の標題を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	設備図書名称が“○○設備図書”であった場合。 設備図書名称：○○設備図書		
XML 表記例	<設備図書名称>○○設備図書</設備図書名称>		
備　考	設備図書の標題をそのまま記入する。		
記入規則	空欄不可。		

(3) オリジナルファイル情報

1) 設備図書オリジナルファイル名

項目名	設備図書オリジナルファイル名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	12
概　要	設備図書の文書、図面等のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	設備図書のオリジナルファイル名が“ FCL01_01.DOC ”であった場合。 設備図書オリジナルファイル名：FCL01_01.DOC		
XML 表記例	<設備図書オリジナルファイル名> FCL01_01.DOC </設備図書オリジナルファイル名>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

2) 設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報

項目名	設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概　要	設備図書作成ソフト名とバージョン情報を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	設備図書オリジナルファイル作成ソフトが“ Microsoft_Word_98 ”であった場合。 設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報： Microsoft_Word_98		
XML 表記例	<設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報> Microsoft_Word_98</設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>		
備　考	発注者が理解できる範囲で記入する。 （どのソフト又どのバージョンであるか、分かるように記入する。）		
記入規則	空欄不可。		

3)　オリジナルファイル内容

項目名	オリジナルファイル内容		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	オリジナルファイル内容を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	オリジナルファイルの内容が“取扱説明書”であった場合。 オリジナルファイル内容：取扱説明書		
XML 表記例	<オリジナルファイル内容>取扱説明書</オリジナルファイル内容>		
備　考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(4) その他

1) 請負者説明文

項目名	請負者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他、設備図書に関して請負者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	なし		

2) 発注者説明文

項目名	発注者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他、設備図書に関して発注者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	発注者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	なし		

3)　予備

項目名	予備		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概　要	その他予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	説明文以外で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	－　省略　－		
XML 表記例	－　省略　－		
備　考	なし		
記入規則	複数記入可。		

付属資料 2　管理ファイルの DTD

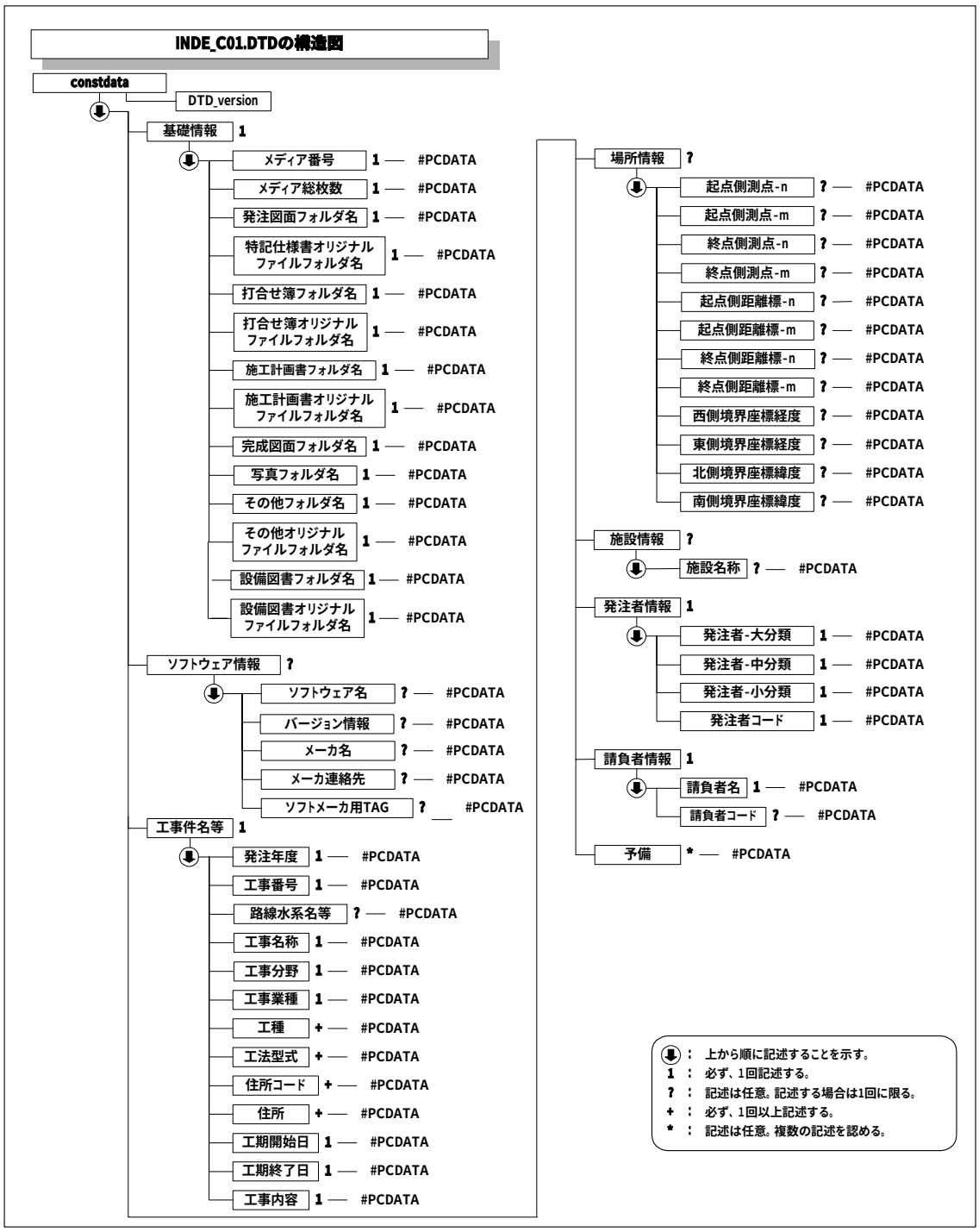
1 工事管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_C.XML)の DTD (INDE_C01.DTD)を以下に示す。

```
<!--INDE_C01.DTD / 2003/07-->

<!ELEMENT constdata (基礎情報,ソフトウェア情報?,工事件名等,場所情報?,施設情報?,発注者情報,請負者情報,予備*)>
<!ATTLIST constdata DTD_version CDATA #FIXED "01">


<!--*****************************************************************-->
<!--                          基礎情報                               -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT 基礎情報 (メディア番号,メディア総枚数,発注図面フォルダ名,特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名,打合せ簿フォルダ名,打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名,施工計画書フォルダ名,施工計画書オリジナルファイルフォルダ名,完成図面フォルダ名,写真フォルダ名,その他フォルダ名,その他オリジナルファイルフォルダ名,設備図書フォルダ名,設備図書オリジナルファイルフォルダ名)>


<!ELEMENT メディア番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メディア総枚数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注図面フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 完成図面フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 設備図書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 設備図書オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>


<!--*****************************************************************-->
<!--                        ソフトウェア情報                         -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカ名?,メーカ連絡先?,ソフトメーカ用 TAG?)>


<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>
```

```
<!--*****************************************************************-->
<!--                          工事件名等                             -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT 工事件名等 (発注年度,工事番号,路線水系名等?,工事名称,工事分野,工事業種,工種+,工法型式+,住所コード+,住所+,工期開始日,工期終了日,工事内容)>

<!ELEMENT 発注年度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 路線水系名等 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事分野 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事業種 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工種 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工法型式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 住所コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 住所 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工期開始日 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工期終了日 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事内容 (#PCDATA)>

<!--*****************************************************************-->
<!--                          場所情報                               -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT 場所情報 (起点側測点-n?,起点側測点-m?,終点側測点-n?,終点側測点-m?,起点側距離標-n?,起点側距離標-m?,終点側距離標-n?,終点側距離標-m?,西側境界座標経度?,東側境界座標経度?,北側境界座標緯度?,南側境界座標緯度?)>

<!ELEMENT 起点側測点-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 起点側測点-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側測点-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側測点-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 起点側距離標-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 起点側距離標-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側距離標-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側距離標-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>

<!--*****************************************************************-->
<!--                          施設情報                               -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT 施設情報 (施設名称?)>

<!ELEMENT 施設名称 (#PCDATA)>
```

```
<!--*********************************************************************-->
<!--                          発注者情報                                 -->
<!--*********************************************************************-->

<!ELEMENT 発注者情報 (発注者-大分類,発注者-中分類,発注者-小分類,発注者コード)>

<!ELEMENT 発注者-大分類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者-中分類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者-小分類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者コード (#PCDATA)>


<!--*********************************************************************-->
<!--                          請負者情報                                 -->
<!--*********************************************************************-->

<!ELEMENT 請負者情報 (請負者名,請負者コード?)>

<!ELEMENT 請負者名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 請負者コード (#PCDATA)>


<!--*********************************************************************-->
<!--                            予備                                     -->
<!--*********************************************************************-->

<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>
```


INDE_C01.DTDの構造図
constdata
DTD_version
基礎情報 1
メディア番号 1 — #PCDATA
メディア総枚数 1 — #PCDATA
発注図面フォルダ名 1 — #PCDATA
特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名 1 — #PCDATA
打合せ簿フォルダ名 1 — #PCDATA
打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名 1 — #PCDATA
施工計画書フォルダ名 1 — #PCDATA
施工計画書オリジナルファイルフォルダ名 1 — #PCDATA
完成図面フォルダ名 1 — #PCDATA
写真フォルダ名 1 — #PCDATA
その他フォルダ名 1 — #PCDATA
その他オリジナルファイルフォルダ名 1 — #PCDATA
設備図書フォルダ名 1 — #PCDATA
設備図書オリジナルファイルフォルダ名 1 — #PCDATA
ソフトウェア情報 ?
ソフトウェア名 ? — #PCDATA
バージョン情報 ? — #PCDATA
メーカ名 ? — #PCDATA
メーカ連絡先 ? — #PCDATA
ソフトメーカ用TAG ? — #PCDATA
工事件名等 1
発注年度 1 — #PCDATA
工事番号 1 — #PCDATA
路線水系名等 ? — #PCDATA
工事名称 1 — #PCDATA
工事分野 1 — #PCDATA
工事業種 1 — #PCDATA
工種 + — #PCDATA
工法型式 + — #PCDATA
住所コード + — #PCDATA
住所 + — #PCDATA
工期開始日 1 — #PCDATA
工期終了日 1 — #PCDATA
工事内容 1 — #PCDATA
場所情報 ?
起点側測点-n ? — #PCDATA
起点側測点-m ? — #PCDATA
終点側測点-n ? — #PCDATA
終点側測点-m ? — #PCDATA
起点側距離標-n ? — #PCDATA
起点側距離標-m ? — #PCDATA
終点側距離標-n ? — #PCDATA
終点側距離標-m ? — #PCDATA
西側境界座標経度 ? — #PCDATA
東側境界座標経度 ? — #PCDATA
北側境界座標緯度 ? — #PCDATA
南側境界座標緯度 ? — #PCDATA
施設情報 ?
施設名称 ? — #PCDATA
発注者情報 1
発注者-大分類 1 — #PCDATA
発注者-中分類 1 — #PCDATA
発注者-小分類 1 — #PCDATA
発注者コード 1 — #PCDATA
請負者情報 1
請負者名 1 — #PCDATA
請負者コード ? — #PCDATA
予備 * — #PCDATA
⬇ : 上から順に記述することを示す。
1 : 必ず、1回記述する。
? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ : 必ず、1回以上記述する。
* : 記述は任意。複数の記述を認める。

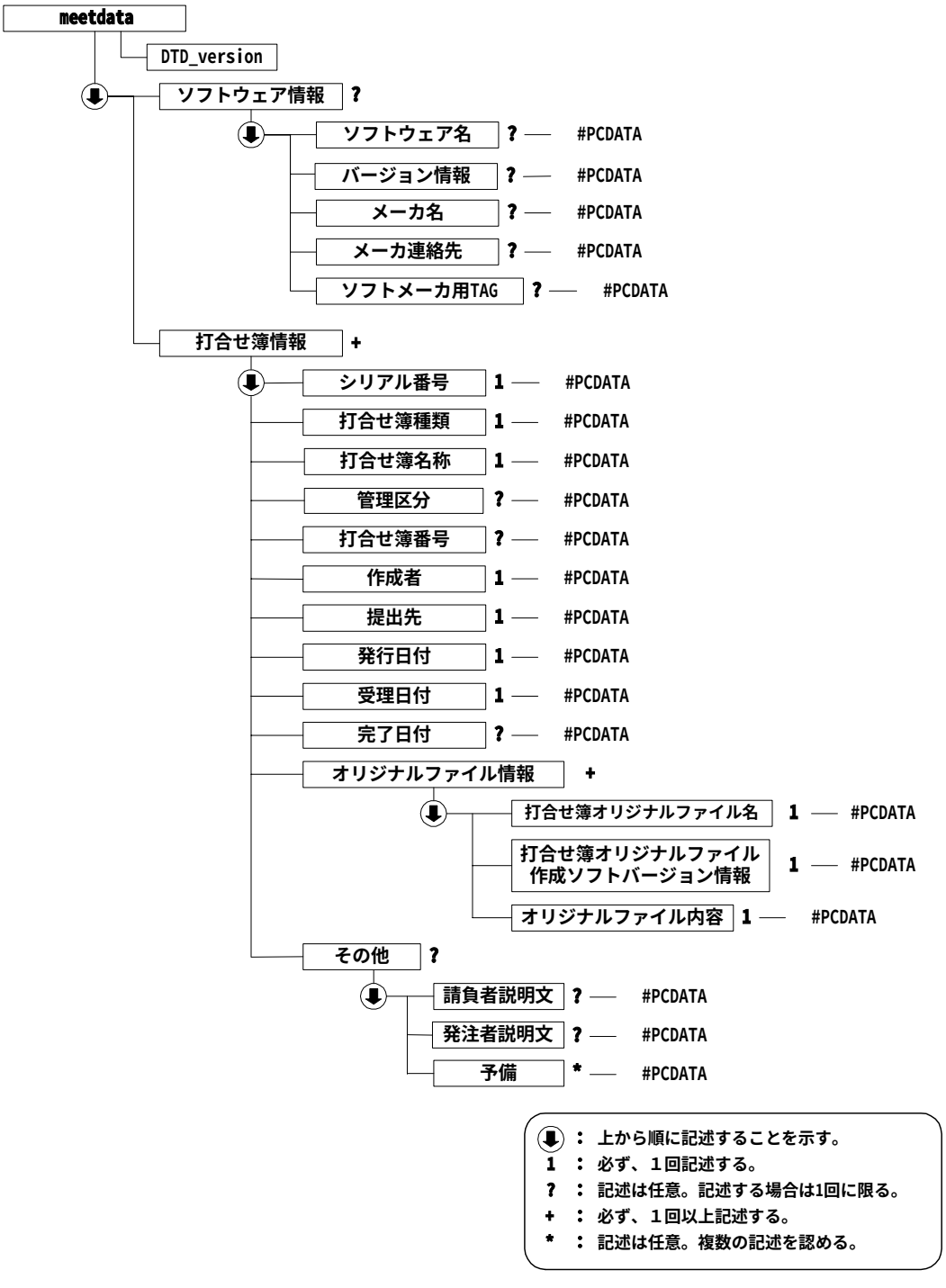
2 打合せ簿管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に添付する打合せ簿管理ファイル(MEET.XML)の DTD (MEET02.DTD)を以下に示す。

```
<!--MEET02.DTD / 2001/08-->

<!ELEMENT meetdata (ソフトウェア情報?,打合せ簿情報+)>
<!ATTLIST meetdata DTD_version CDATA #FIXED "02">


<!--*****************************************************************-->
<!--                        ソフトウェア情報                         -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカ名?,メーカ連絡先?,
ソフトメーカ用 TAG?)>

<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>


<!--*****************************************************************-->
<!--                          打合せ簿情報                           -->
<!--*****************************************************************-->


<!ELEMENT 打合せ簿情報 (シリアル番号,打合せ簿種類,打合せ簿名称,管理区分?,打合せ簿番号?,
作成者,提出先,発行日付,受理日付,完了日付?,オリジナルファイル情報+,その他?)>

<!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿種類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 管理区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 作成者 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 提出先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発行日付 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 受理日付 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 完了日付 (#PCDATA)>


<!--*********************************************************-->
<!--                  オリジナルファイル情報                 -->
<!--*********************************************************-->


<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (打合せ簿オリジナルファイル名,打合せ簿オリジナルファ
イル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容)>
```

```
<!ELEMENT 打合せ簿オリジナルファイル名（#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報（#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容（#PCDATA)>


<!--*********************************************************-->
<!--                    その他                               -->
<!--*********************************************************-->

<!ELEMENT その他（請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>

<!ELEMENT 請負者説明文（#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文（#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備（#PCDATA)>
```

MEET02.DTDの構造図



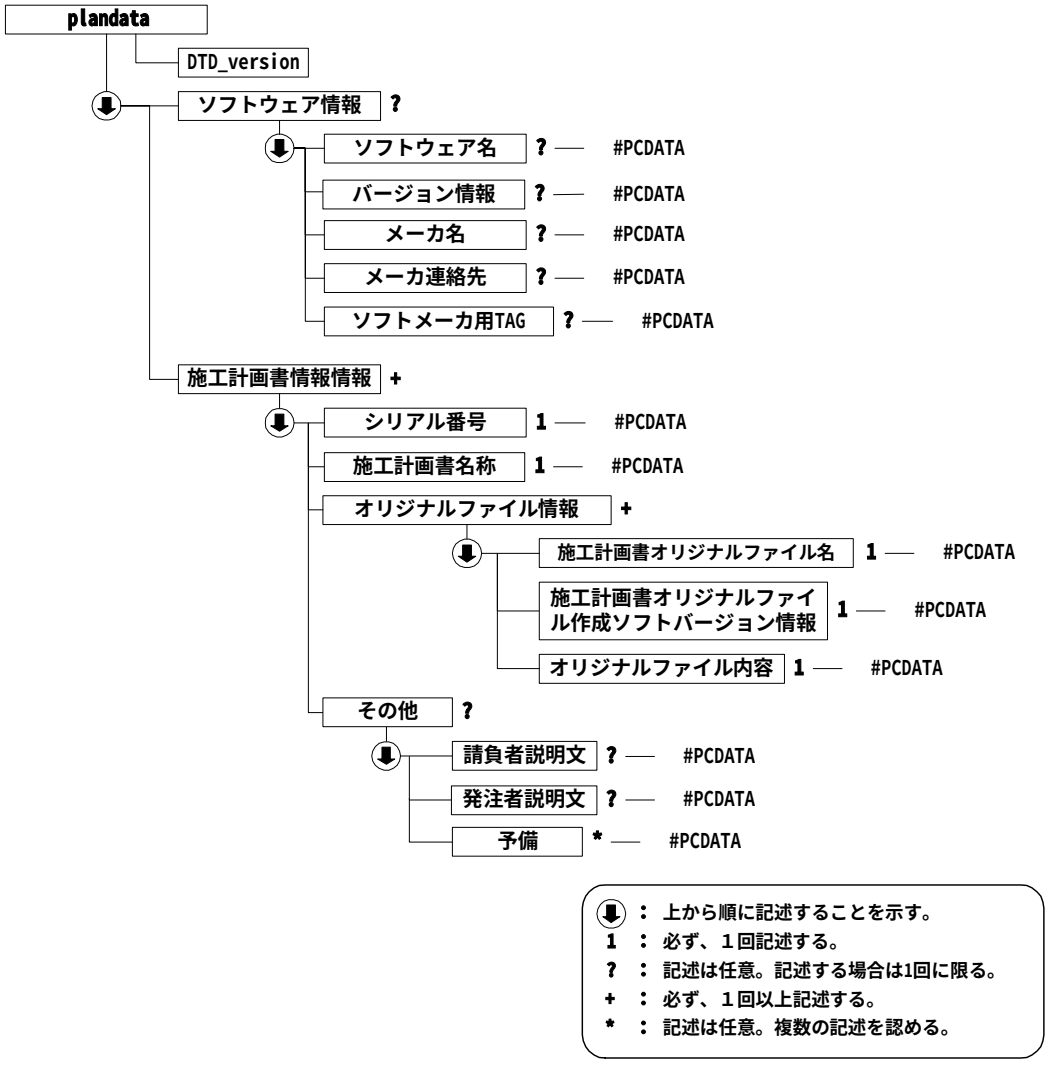
3 施工計画管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に添付する施工計画書管理ファイル(PLAN.XML)の DTD (PLAN02.DTD)を以下に示す。

```
<!--PLAN02.DTD / 2001/08-->

<!ELEMENT plandata (ソフトウェア情報?,施工計画書情報+)>
<!ATTLIST plandata DTD_version CDATA #FIXED "02">


<!--*****************************************************************-->
<!--                        ソフトウェア情報                         -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカ名?,メーカ連絡先?,
ソフトメーカ用 TAG?)>

<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>


<!--*****************************************************************-->
<!--                        施工計画書情報                           -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT 施工計画書情報 (シリアル番号,施工計画書名称,オリジナルファイル情報+,その
他?)>

<!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書名称 (#PCDATA)>


<!--*********************************************************-->
<!--                  オリジナルファイル情報                 -->
<!--*********************************************************-->

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (施工計画書オリジナルファイル名,施工計画書オリジナル
ファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容)>

<!ELEMENT 施工計画書オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
```

```
<!--*********************************************************-->
<!--                    その他                               -->
<!--*********************************************************-->

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>
<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>
```

PLAN02.DTDの構造図



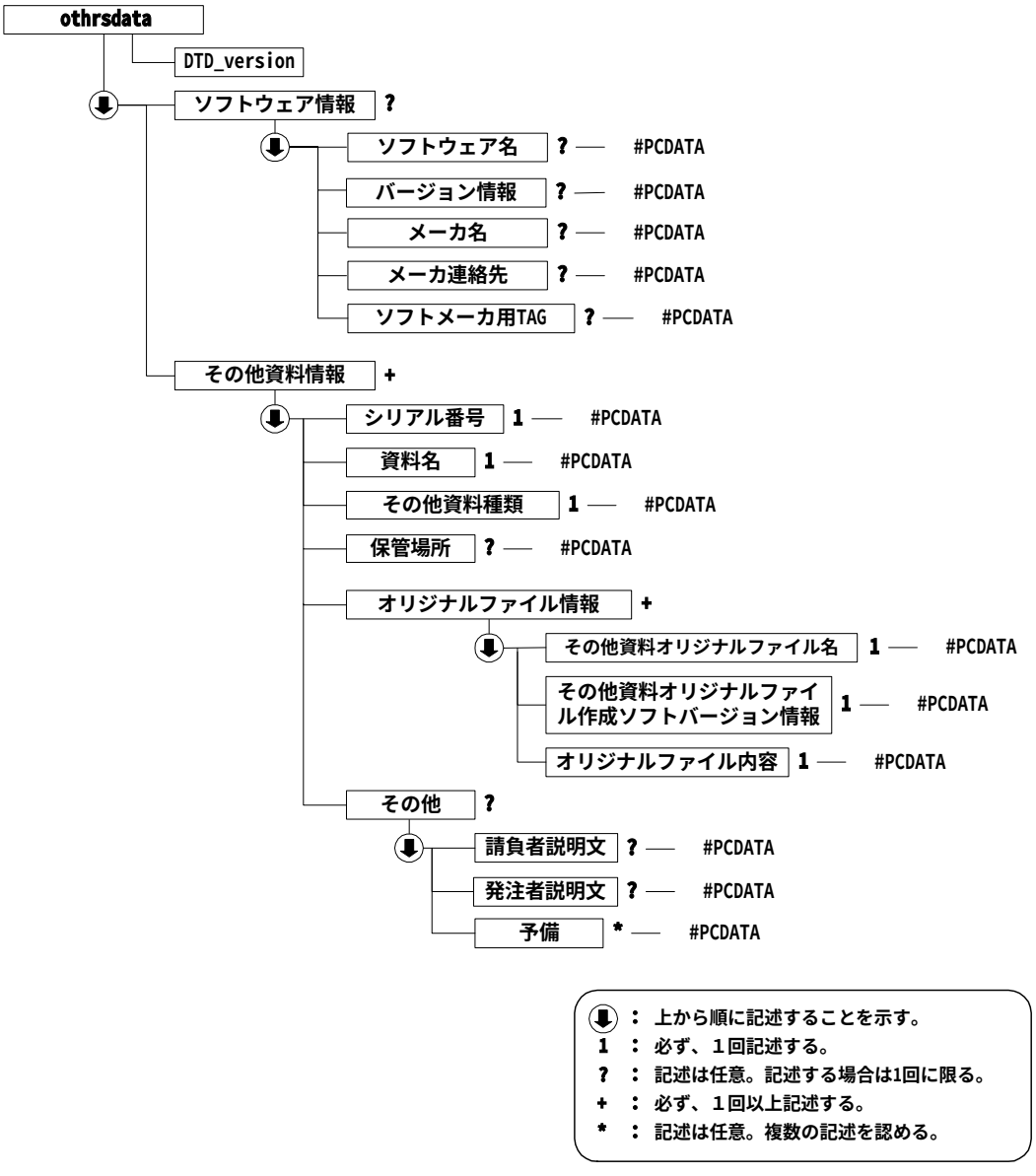
4 その他資料管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に添付するその他資料管理ファイル(OTHRS.XML)の DTD (OTHRS02.DTD)を以下に示す。

```
<!--OTHRS02.DTD / 2001/08-->

<!ELEMENT othrsdata (ソフトウェア情報?,その他資料情報+)>
<!ATTLIST othrsdata DTD_version CDATA #FIXED "02">


<!--*****************************************************************-->
<!--                        ソフトウェア情報                         -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカ名?,メーカ連絡先?,
ソフトメーカ用 TAG?)>
<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>


<!--*****************************************************************-->
<!--                          その他資料情報                         -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT その他資料情報 (シリアル番号,資料名,その他資料種類,保管場所?,オリジナルファ
イル情報+,その他?)>

<!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 資料名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他資料種類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 保管場所 (#PCDATA)>


<!--*********************************************************-->
<!--                    オリジナルファイル情報               -->
<!--*********************************************************-->

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (その他資料オリジナルファイル名,その他資料オリジナル
ファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容)>

<!ELEMENT その他資料オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
```

```
<!--*********************************************************-->
<!--                    その他                               -->
<!--*********************************************************-->

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>
<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>
```

OTHRS02.DTDの構造図



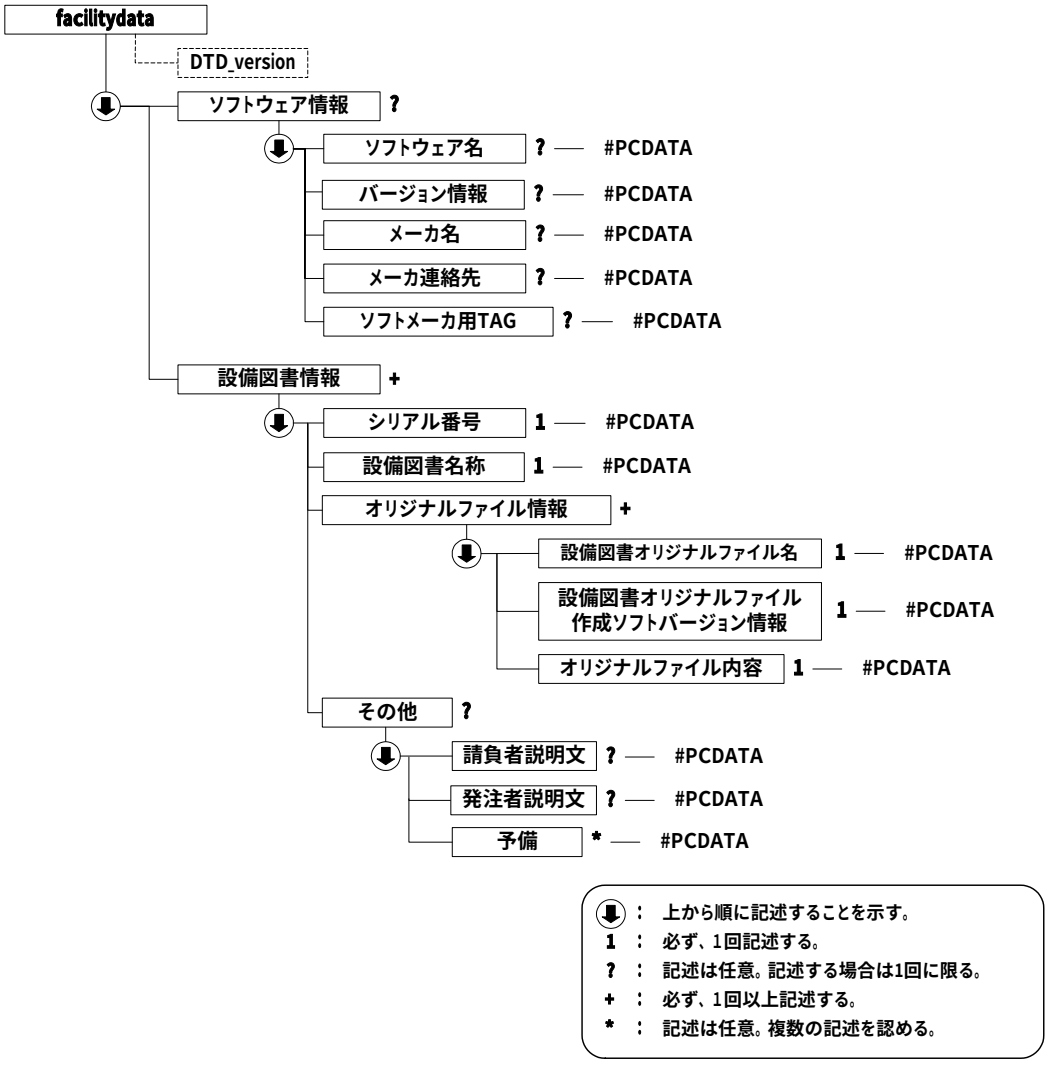
5 設備図書管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に添付する設備図書管理ファイル(FACILITY.XML)の DTD (FCL01.DTD)を以下に示す。

```
<!--FCL01.DTD / 2003/07-->

<!ELEMENT facilitydata (ソフトウェア情報?,設備図書情報+)>
<!ATTLIST facilitydata DTD_version CDATA #FIXED "01">


<!--*****************************************************************-->
<!--                          ソフトウェア情報                       -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカ名?,メーカ連絡先?,
ソフトメーカ用 TAG?)>

<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>


<!--*****************************************************************-->
<!--                          設備図書情報                           -->
<!--*****************************************************************-->

<!ELEMENT 設備図書情報 (シリアル番号,設備図書名称,オリジナルファイル情報+,その他?)>

<!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 設備図書名称 (#PCDATA)>


<!--*********************************************************-->
<!--                  オリジナルファイル情報                 -->
<!--*********************************************************-->

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (設備図書オリジナルファイル名, 設備図書オリジナルファ
イル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容)>

<!ELEMENT 設備図書オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
```

```
<!--*********************************************************-->
<!--                    その他                               -->
<!--*********************************************************-->

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>
<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>
```

FCL01.DTDの構造図



付属資料 3　管理ファイルの XML 記入例

1　工事管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_C.XML)の入力例と出力例を以下に示す。

(1) 入力例

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者
基礎情報	メディア番号	2	□
	メディア総枚数	3	□
	発注図面フォルダ名	DRAWINGS	▲
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	DRAWINGS/SPEC	▲
	打合せ簿フォルダ名	MEET	▲
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	MEET/ORG	▲
	施工計画書フォルダ名	PLAN	▲
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	PLAN/ORG	▲
	完成図面フォルダ名	DRAWINGF	▲
	写真フォルダ名	PHOTO	▲
	その他フォルダ名	OTHRS	▲
	その他オリジナルファイルフォルダ名	OTHRS/ORG	▲
	設備図書フォルダ名	FACILITY	▲
	設備図書オリジナルファイルフォルダ名	FACILITY /ORG	▲
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	工事管理ファイル作成簡易システム	▲
	バージョン情報	1.0	▲
	メーカ名	○○株式会社	▲
	メーカ連絡先	○○県△△市□□ 1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx	▲
	ソフトメーカ用 TAG		▲
工事件名等	発注年度	1998	□
	工事番号	15G39001001	□
	路線水系名等	○○○○	■
	工事名称	○○受変電・発電設備工事	■
	工事分野	電気	■
	工事業種	電気工事	■
	工種	電気工事	■
	工法型式	電気工事	■
	住所コード	17201	■
	住所	石川県金沢市○○○1234	■
	工期開始日	1998-11-06	■
	工期終了日	1999-02-26	■
	工事内容	受変電設備更新 6600V/150kVA、自家発電設備更新 210V/150kVA	□

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者
場所情報	起点側測点-n	0015	□
	起点側測点-m	008	□
	終点側測点-n	0018	□
	終点側測点-m	005	□
	起点側距離標-n	031	□
	起点側距離標-m	045	□
	終点側距離標-n	036	□
	終点側距離標-m	067	□
	西側境界座標経度	1383730	□
	東側境界座標経度	1384500	□
	北側境界座標緯度	0353500	□
	南側境界座標緯度	0352000	□
施設情報	施設名称	○○トンネル	□
発注者情報	発注者-大分類	石川県	■
	発注者-中分類	土木事務所	■
	発注者-小分類	○○土木事務所	■
	発注者コード	21701104	■
請負者情報	請負者名	株式会社○○○	■
	請負者コード	○○○	□
予備	予備		□

(2) 出力例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE constdata SYSTEM "INDE_C01.DTD">

<constdata DTD_version="01">

<基礎情報>
<メディア番号>2</メディア番号>
<メディア総枚数>3</メディア総枚数>
<発注図面フォルダ名>DRAWINGS</発注図面フォルダ名>
<特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGS/SPEC</特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>
<打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>
<打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>
<施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
<施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>
<完成図面フォルダ名>DRAWINGF</完成図面フォルダ名>
<写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
<その他フォルダ名>OTHRS</その他フォルダ名>
<その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHRS/ORG</その他オリジナルファイルフォルダ名>
<設備図書フォルダ名> FACILITY </設備図書フォルダ名>
<設備図書オリジナルファイルフォルダ名> FACILITY /ORG</設備図書オリジナルファイルフォルダ名>
</基礎情報>


<ソフトウェア情報>
<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>
<バージョン情報>1.0</バージョン情報>
<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>
<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>
</ソフトウェア情報>

<工事件名等>
<発注年度>1998</発注年度>
<工事番号>15G39001001</工事番号>
<路線水系名等>○○○○</路線水系名等>
<工事名称>○○受変電・発電設備工事</工事名称>
<工事分野>電気</工事分野>
<工事業種>電気工事</工事業種>
<工種>電気工事</工種>
<工法型式>建設電気設備工</工法型式>
<住所コード>17201</住所コード>
<住所>石川県金沢市○○○1234</住所>
<工期開始日>1998-11-06</工期開始日>
<工期終了日>1999-02-26</工期終了日>
<工事内容>受変電設備更新 6600V/150kVA、自家発電設備更新 210V/150kVA </工事内容>
</工事件名等>

<場所情報>
<起点側測点-n>0015</起点側測点-n>
<起点側測点-m>008</起点側測点-m>
<終点側測点-n>0018</終点側測点-n>
```

<終点側測点-m>005</終点側測点-m>
<起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>
<起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>
<終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>
<終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>
<西側境界座標経度>1383730</西側境界座標経度>
<東側境界座標経度>1384500</東側境界座標経度>
<北側境界座標緯度>0353500</北側境界座標緯度>
<南側境界座標緯度>0352000</南側境界座標緯度>
</場所情報>

<施設情報>
<施設名称>○○トンネル</施設名称>
</施設情報>

<発注者情報>
<発注者-大分類>石川県</発注者-大分類>
<発注者-中分類>土木事務所</発注者-中分類>
<発注者-小分類>○○土木事務所</発注者-小分類>
<発注者コード>21701104</発注者コード>
</発注者情報>

<請負者情報>
<請負者名>株式会社○○○</請負者名>
<請負者コード>○○○</請負者コード>
</請負者情報>

<予備/>

</constdata>

2 打合せ簿管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納する打合せ簿管理ファイル(MEET.XML)の入力例と出力例を以下に示す。

(1) 入力例

カテゴリー	項目名		入力したデータ	記入者
ソフトウェア情報	ソフトウェア名		工事管理ファイル作成簡易システム	▲
	バージョン情報		1.0	▲
	メーカ名		○○株式会社	▲
	メーカ連絡先		○○県△△市□□1-1-1 TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx	▲
	ソフトメーカ用 TAG			▲
打合せ簿情報	シリアル番号		2	□
	打合せ簿種類		提出	□
	打合せ簿名称		○○○に関する協議	□
	管理区分		施工管理	□
	打合せ簿番号		A-1-012	□
	作成者		請負者:現場代理人	□
	提出先		発注者	□
	発行日付		2002-09-09	□
	受理日付		2002-09-09	□
	完了日付		2002-09-09	□
	オリジナルファイル情報	打合せ簿オリジナルファイル名	M0001_01.DOC	□
		打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Word_98	□
		オリジナルファイル内容	本文	□
		打合せ簿オリジナルファイル名	M0001_02.XLS	□
		打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Excel_97	□
		オリジナルファイル内容	工程表	□
	その他	請負者説明文		□
		発注者説明文		□
		予備		□

(2) 出力例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE meetdata SYSTEM "MEET02.DTD">
<meetdata DTD_version="02">

<ソフトウェア情報>
<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>
<バージョン情報>1.0</バージョン情報>
<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>
<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>
</ソフトウェア情報>

<打合せ簿情報>
<シリアル番号>2</シリアル番号>
<打合せ簿種類>提出</打合せ簿種類>
<打合せ簿名称>○○○に関する協議</打合せ簿名称>
<管理区分>施工管理</管理区分>
<打合せ簿番号>A-1-012</打合せ簿番号>
<作成者>請負者:現場代理人</作成者>
<提出先>発注者</提出先>
<発行日付>2002-09-09</発行日付>
<受理日付>2002-09-09</受理日付>
<完了日付>2002-09-09</完了日付>

<オリジナルファイル情報>
<打合せ簿オリジナルファイル名>M0001_01.DOC</打合せ簿オリジナルファイル名>
<打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Word_98</打合せ簿オリジ
ナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>本文</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>

<オリジナルファイル情報>
<打合せ簿オリジナルファイル名>M0001_02.XLS</打合せ簿オリジナルファイル名>
<打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Excel_97</打合せ簿オリ
ジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>工程表</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>

<その他>
<請負者説明文/>
<発注者説明文/>
<予備/>
</その他>

</打合せ簿情報>

</meetdata>
```

3 施工計画管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納する施工計画書管理ファイル(PLAN.XML)の入力例と出力例を以下に示す。

(1) 入力例

カテゴリー	項目名		入力したデータ	記入者
ソフトウェア情報	ソフトウェア名		工事管理ファイル作成簡易システム	▲
	バージョン情報		1.0	▲
	メーカ名		○○株式会社	▲
	メーカ連絡先		○○県△△市□□ 1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx	▲
	ソフトメーカ用 TAG			▲
施工計画書情報	シリアル番号		2	□
	施工計画書名称		○○施工計画書	□
	オリジナルファイル情報	施工計画書オリジナルファイル名	PLA01_01.DOC	□
		施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Word_98	□
		オリジナルファイル内容	現場組織表	□
		施工計画書オリジナルファイル名	PLA01_02.XLS	□
		施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Excel_97	□
		オリジナルファイル内容	工程表	□
	その他	請負者説明文		□
		発注者説明文		□
		予備		□

(2) 出力例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE plandata SYSTEM "PLAN02.DTD">
<plandata DTD_version="02">

<ソフトウェア情報>
<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>
<バージョン情報>1.0</バージョン情報>
<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>
<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>
</ソフトウェア情報>

<施工計画書情報>
<シリアル番号>2</シリアル番号>
<施工計画書名称>○○施工計画書</施工計画書名称>

<オリジナルファイル情報>
<施工計画書オリジナルファイル名>PLA01_01.DOC</施工計画書オリジナルファイル名>
<施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Word_98</施工計画書オ
リジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>現場組織表</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>

<オリジナルファイル情報>
<施工計画書オリジナルファイル名>PLA01_02.XLS</施工計画書オリジナルファイル名>
<施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Excel_97</施工計画書
オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>工程表</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>

<その他>
<請負者説明文/>
<発注者説明文/>
<予備/>
</その他>
</施工計画書情報>

</plandata>
```

4 その他資料管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納するその他資料管理ファイル(OTHRS.XML)の入力例と出力例を以下に示す。

(1) 入力例

カテゴリー	項目名		入力したデータ	記入者
ソフトウェア情報	ソフトウェア名		工事管理ファイル作成簡易システム	▲
	バージョン情報		1.0	▲
	メーカ名		○○株式会社	▲
	メーカ連絡先		○○県△△市□□ 1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx	▲
	ソフトメーカ用 TAG			▲
その他資料情報	シリアル番号		2	□
	資料名		段階確認書	□
	その他資料種類		段階確認書	□
	保管場所		○○○バインダ（その 1）	□
	オリジナルファイル情報	その他資料オリジナルファイル名	PRG01_01.DOC	□
		その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Word_98	□
		オリジナルファイル内容	工事履行報告書	□
		その他資料オリジナルファイル名	CHK01_01.DOC	□
		その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Word_98	□
		オリジナルファイル内容	段階確認書	□
	その他	請負者説明文		□
		発注者説明文		□
		予備		□

(2) 出力例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE othrsdata SYSTEM "OTHRS02.DTD">
<othrsdata DTD_version="02">

<ソフトウェア情報>
<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>
<バージョン情報>1.0</バージョン情報>
<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>
<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>
</ソフトウェア情報>

<その他資料情報>
<シリアル番号>2</シリアル番号>
<資料名>段階確認書</資料名>
<その他資料種類>段階確認書</その他資料種類>
<保管場所>○○○バインダ（その 1）</保管場所>

<オリジナルファイル情報>
<その他資料オリジナルファイル名>PRG01_01.DOC</その他資料オリジナルファイル名>
<その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Word_98</その他資料オ
リジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>工事履行報告書</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>

<オリジナルファイル情報>
<その他資料オリジナルファイル名>CHK01_01.DOC</その他資料オリジナルファイル名>
<その他資料オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Word_98</その他資料オ
リジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>段階確認書</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>

<その他>
<請負者説明文/>
<発注者説明文/>
<予備/>
</その他>
</その他資料情報>

</othrsdata>
```

5 設備図書管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納する設備図書管理ファイル(FACILITY.XML)の入力例と出力例を以下に示す。

(1) 入力例

カテゴリー	項目名		入力したデータ	記入者
ソフトウェア情報	ソフトウェア名		工事管理ファイル作成簡易システム	▲
	バージョン情報		1.0	▲
	メーカ名		○○株式会社	▲
	メーカ連絡先		○○県△△市□□1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx	▲
	ソフトメーカ用 TAG			▲
設備図書情報	シリアル番号		2	□
	設備図書名称		○○設備図書	□
	オリジナルファイル情報	設備図書オリジナルファイル名	FCL01_01.DOC	□
		設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Word_98	□
		オリジナルファイル内容	取扱説明書	□
		設備図書オリジナルファイル名	FCL01_02.XLS	□
		設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Excel_97	□
		オリジナルファイル内容	工程表	□
	その他	請負者説明文		□
		発注者説明文		□
		予備		□

(2) 出力例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE facilitydata SYSTEM "FCL01.DTD">
<facilitydata DTD_version="01">

<ソフトウェア情報>
<ソフトウェア名>工事管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>
<バージョン情報>1.0</バージョン情報>
<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>
<メーカ連絡先>○○県△△市□□1-1-1TEL:0xx-xxx-xxxxFAX:0xx-xxx-xxxx</メーカ連絡先>
</ソフトウェア情報>

<設備図書情報>
<シリアル番号>2</シリアル番号>
<設備図書名称>○○設備図書</設備図書名称>

<オリジナルファイル情報>
<設備図書オリジナルファイル名>PLA01_01.DOC</設備図書オリジナルファイル名>
<設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Word_98</設備図書オリジ
ナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>取扱説明書</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>

<オリジナルファイル情報>
<設備図書オリジナルファイル名>FCL01_02.XLS</設備図書オリジナルファイル名>
<設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>Microsoft_Excel_97</設備図書オリ
ジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>工程表</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>

<その他>
<請負者説明文/>
<発注者説明文/>
<予備/>
</その他>
</設備図書情報>

</facilitydata>
```

付属資料 4　　XML 文書作成における留意点

XML 文書の作成にあたっての留意点を以下に示す。

(1) XML 文書における文字セットは、「8-2 使用文字」によるものとする。

(2) XML 文書の文字符号化方式は、XML 文書の標準符号化方式である Unicode 形式の UTF-16、または UTF-8 を基本とすべきであるが、コンピュータシステムの現状を鑑み、当面は Shift_JIS とする。

(3) 提出する XML 文書には、DTD を埋め込む方式をとらず、外部ファイル参照方式を採用する。

(4) XML の予約文字（JIS X 0201（ラテン文字用図形文字）の不等号（より小）(<)、不等号（より大）(>)、アンパサンド（&)、アポストロフィー（ ’)、引用符（ ”)）については、実体参照を用いることで使用することができる。以下に実体参照を示す。

表 1　実体参照

記号	実体参照
“	"
&	&
‘	'
＜	<
＞	>

(5) XML 文書の作成は、「JIS X 4159:2002 拡張可能なマーク付け言語(XML)」、「標準情報(TR)TR X 0015:1999XML 日本語プロファイル」を参照すること。